

令和5年度第1回朝霞市地域包括支援センター運営協議会 会議次第

日 時 令和5年7月31日（月）

午後1時30分から午後3時

会 場 朝霞市民会館ゆめばれす 会議室201

1 開会

2 議題

(1) 令和4年度朝霞市地域包括支援センター事業実績及び収支決算について

資料1	令和4年度朝霞市地域包括支援センター事業実績報告書
-----	---------------------------

参考資料	令和4年度朝霞市地域包括支援センター事業報告
------	------------------------

資料2	令和4年度朝霞市地域包括支援センター収支決算書
-----	-------------------------

(2) その他

3 閉会

令和4年度  
朝霞市地域包括支援センター  
事業実績報告書

第1圏域	内間木苑
第2圏域	つつじの郷
第3圏域	モーニングパーク
第4圏域	ひいらぎの里
第5圏域	朝光苑
第6圏域	あさか中央

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			( ○ △ × )	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	○	○
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	目標：地域や関係機関等との連携を図る。 課題： <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との情報共有の機会を設ける。</li> <li>・見守りの目を増やしていく。</li> <li>・地域で活躍してもらえる人材の発掘を行なう</li> </ul>	情報共有の場を定期的に設けることで、早期の発見・支援に繋がっている。また、民生委員や町内会長、サロンの代表・参加者等からも相談の連絡を頂けており、一定の連携を図れていると実感している。 包括主催の講座を通して市民に見守りの大切さへの意識を育んで頂く機会になっている。	主に地域の見守りを担う住民との連携を図ることで、早期支援に繋がっており、早期治療や事前の環境構築が可能になっている。今後も情報連携のネットワーク構築を拡充することを期待する。 声かけ訓練などの実践的な講座は、市民の意識向上や講座後すぐに情報が集まるなど地域の見守りへ関心が高まっていることが伺える。	

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(1)総合相談支援業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>目標:平時から地域の連携が図られている。要支援者の情報を共有できる。</b> <b>課題:・前年のから引き続いて台帳の活用を進め見守りの輪を広げる。・訪問し状況把握に努め、共有の機会を設けていく。</b>		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握</li> <li>・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点)</li> <li>・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携</li> <li>・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築</li> <li>・地域の自主グループ活動の育成、支援</li> <li>・ボランティア育成等の市民向け講座の実施</li> <li>・機関紙等の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談・支援(窓口・電話・訪問ほか)</li> <li>・出張相談会 (年2回) 3回</li> <li>・UR浜崎団地職員・民生委員・包括での情報共有会の継続。イベントの共催(年1回) 7回 イベント2回(防災講座、包括とは・・・)</li> <li>・民生委員定例会への参加 (東北部・北部 各2回)</li> <li>・自治会・町内会との連携 (随時)</li> <li>・老人会・サロン等への支援 (随時)</li> <li>・老人会・サロン等での出前講座 (年2回以上)3回</li> <li>・市民向け講座 (年2回) 2回【気功講座、(防災講座)】</li> <li>・機関紙(うちまぎ通信)の発行 (年2回) 2回</li> <li>・ノルディックウォーク自主グループ支援(随時)</li> <li>・朝霞市避難行動要支援者台帳の活用、地域の関係者との共有(上内間木・下内間木 各1回)・・・ 町会長へ報告。</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 支援者台帳訪問を昨年度から実施しており、今回も数名の方が必要な支援に繋がった。また、町内会や老人会、サロンのメンバー等から情報を頂き、早期発見・早期支援に繋がったケースがあった。関係機関(UR・民生委員)と情報共有を図る事で継続的な見守りに繋がっている。定期的なイベントを通して地域の方が交流できるきっかけ作りを行っている。		
<b>(2)権利擁護業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>目標:成年後見制度が適切に利用される。迅速に適切な機関との連携を図る。</b> <b>課題:成年後見制度の周知・利用支援。・専門職の相互連携</b>		
①成年後見制度の活用 ②虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の周知、活用</li> <li>・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応</li> <li>・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成</li> <li>・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討</li> <li>・警察と連携した消費者被害防止の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別・老人会・サロン等への周知 (随時)</li> <li>・民生委員や関係機関、URとの連携 (年3、4回) 5回</li> <li>・専門職の連携や会議等を活用した事例検討 (随時)</li> <li>・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 関係機関や専門職との連携により成年後見制度へお繋ぎするケースがあった。また、身元保証への支援にお繋ぎするケースもあり、双方とも相談件数は年々増加傾向にある。ご本人様の権利を守る上で欠かせない制度であると同時に、適切な機関との連携がとても大切であると認識している。		
<b>(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>目標:地域に開かれた事業所となるよう橋渡しを行なう。インフォーマルサービスの視点を積極的に持ってもらう。</b> <b>課題:課題に対してどのような事が還元できるかを検討する。・地域の活動紹介を行う。</b>		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施</li> <li>・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携</li> <li>・介護支援専門員のネットワーク構築</li> <li>・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施</li> <li>・介護支援専門員への個別相談支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括単位の地域ケア会議(年4回)</li> <li>・関係機関連絡会議(朝霞でいきいきネットワーク・ライゼの会) (随時)</li> <li>・全包括合同のケアマネカフェ (年4回)</li> <li>・居宅介護支援事業所の訪問 (年2回) 4事業所各2回</li> <li>・介護支援専門員への個別支援 (随時)</li> <li>・介護施設運営推進会議(随時)</li> <li>・第一圏域ネットワーク会議(地域密着型サービス事業者との連携)(年2回) 5回</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 包括単位の地域ケア会議において、第2層SCより地域資源の情報提供を行なっている。件数は少ないがケアマネより地域の資源について問い合わせを頂ける機会もあった。圏域ネットワーク会議を通して連携を重ねることで、情報共有の場にもなると同時に、包括の事業への協力も行なって頂けた。		
<b>(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>目標:地域の中で生きがいや役割を持つ。</b> <b>課題:居場所作りとしてサロン等の情報提供や団体の活動支援を行う。</b>		
①介護予防・日常生活支援総合事業 1)介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2)一般介護予防事業 ②指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント</li> <li>・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる)</li> <li>・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知)</li> <li>・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う)</li> <li>・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援)</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント (介護保険給付サービス利用者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業対象者へのケアマネジメント (随時)</li> <li>・サービスCの有効的活用 (随時) 10件</li> <li>・一般介護予防事業への支援 (随時)</li> <li>・介護予防に関する講座・教室等 (年1回以上)</li> <li>・地域の介護予防団体への支援 (随時)</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 年齢に関係なく役割や生きがいは生涯大切であるとする。閉じこもり傾向になっている方に対して、地域の情報提供を行ない、サロンや老人会へお繋ぎする支援を行なった。サロンや老人会へ積極的に顔出しを行ない、再開の支援を行なうとともに参加者の把握に努めた。		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(5)在宅医療・介護連携推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>目標:専門職が相互に連携し、スムーズに情報連携を行なう事が出来る。市民が自ら望む暮らしについて家族・関係者とともに考え、決定する事が出来る。</b>		
<b>課題:顔の見える関係作りの継続。・ACPの必要性について普及啓発</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護サービスの情報共有支援</li> <li>圏域毎での情報共有支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療・介護の資源の把握</li> <li>在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討</li> <li>切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進</li> <li>在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> <li>地域住民への普及啓発</li> <li>医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時)</li> <li>地域住民への普及啓発 (随時) ACP 講演会1回</li> <li>市が主催する会議・研修会への出席・参加 随時</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
市役所や包括ケア支援室等の協力によって、ACPの講演会を開催した。参加された皆様には、自身にとっての医療やケアを考えていただく良い機会であったと感じている。市が主催される研修会にも可能な限り出席し、医療と介護の連携がより進むよう顔の見える関係を推進していきたい。		
<b>(6)生活支援体制整備事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>目標:住民同士の助け合いによって地域課題の解決が出来る。</b>		
<b>課題:住民同士の助け合いの仕組みづくりについて学ぶ。・第二層協議体の周知を行なう。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する生活支援ニーズへの対応</li> <li>社会資源の発掘・育成・活用</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援</li> <li>地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二層協議体 和の会の運営支援(月1回)</li> <li>社会資源の発掘・育成・活用 (随時)</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時)</li> <li>和み通信発行(年2回)地域住民に協議体の周知</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
他市のSCを招き、活動内容の共有を図った。他協議体との交流会を通して、互いの活動を知ることが出来た事でメンバーの皆様の良い刺激になったと感じている。イベントを通して協議体の周知を行なう案が出され、来年度の活動に活かしていきたい。		
<b>(7)認知症総合支援事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>目標:認知症でない住民が認知症を理解し、認知症当事者や家族を地域で見守り、支える事が出来る。</b>		
<b>課題:地域の支援者を増やす。・活躍できる人材を発掘する。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①認知症の早期対応に向けた支援</li> <li>②認知症の方と家族への支援</li> <li>③医療・介護・家族の連携支援</li> <li>④認知症についての地域理解の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築</li> <li>認知症に関する知識習得機会の提供</li> <li>認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援</li> <li>認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減</li> <li>認知症サポーター養成講座の実施</li> <li>ステップアップ講座等による地域の支援者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症への早期対応 (随時)</li> <li>認知症ケアガイドブック等の活用 (随時)</li> <li>認知症カフェ(オレンジカフェ) (概ね月1回)</li> <li>知恵袋、家族介護者教室 (年2回以上)</li> <li>認知症サポーター養成講座(年1回以上) 中止</li> <li>高齢者声かけ訓練(年1回) 1回</li> <li>認知症サポーター養成講座修子生との懇談会(年1回以上) R5年度6月実施</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
市民の皆様へ認知症の理解促進の為にカフェや講座を行ない、疾病の理解や見守りの意識をより持っていただけるよう継続している。参加された方から他の方の相談を受ける等、参加者一人一人の意識が高まっていくよう支援していきたい。講座など参加者が限定される傾向にあるため、新規の方をどのように呼び込めるかが課題である。		
<b>(8)地域ケア会議推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>目標:地域でいつまでも暮らし続ける事が出来る。</b>		
<b>課題:事例を通して地域の課題・問題点を整理し、支援の充実に努める。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握すること、解決策を検討する機能を有する会議の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別課題の解決</li> <li>介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援</li> <li>高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築</li> <li>地域課題の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>包括単位の地域ケア会議 (年4回、ZOOM 会議も含む)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
今後もケア会議をはじめ、地域住民との関わりの中で出された声を大切に拾い上げ、その地域課題に対する取り組みを一步一步行なっていくことが、解決へ近づく為の唯一の方法だと認識している。包括だけの視点では、気付けない点も多くあるため、様々な専門職の方に多角的な視点から意見を頂き、より自立支援に資するマネジメントに活かしていきたい。		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			( ○ △ × )	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	△	△
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	<p>コロナの影響により、活動機会が減少し、フレイル状態の高齢者が増え、認知機能低下や転倒のリスクが高くなった。休止している団体などの活動支援やイベントを通じて、活動機会を増やし、フレイル予防の土台作りとしたい。</p>	<p>休止していた老人クラブやサロンへの再開支援を行いました。休止期間において、新たな活動内容の提案、支援を行った。コロナの影響で活動機会が減少した高齢者へは毎週水曜日実施している太極拳・ラジオ体操を運動のきっかけにして、社会参加とつながりが定期的なフレイル予防の取り組みと土台作りとなった。</p>	<p>地域の活動団体の再開・継続に向けた支援に留まらず、休止した運動教室等を既存の別のラジオ体操や太極拳の団体等に繋げることで、住民のフレイル予防に寄与するだけでなく、新たな住民交流に繋がっていると評価できる。</p>	

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(1)総合相談支援業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>コロナ禍で高齢者の情報交換する機会が少なくなり、状態把握ができなくなった。サロンや運動教室の再開支援やイベント開催を通じての情報発信や状態把握を強化していきたい。</b>		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握</li> <li>・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点)</li> <li>・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携</li> <li>・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築</li> <li>・地域の自主グループ活動の育成、支援</li> <li>・ボランティア育成等の市民向け講座の実施</li> <li>・機関紙等の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張相談会 (年2回)</li> <li>・民生委員定例会への参加 (年8回)</li> <li>・自治会・町内会との連携 (随時)</li> <li>・老人会・サロン等への支援 (随時)</li> <li>・老人会・サロン等での出前講座 (随時)</li> <li>・市民向け講座 (年4回)</li> <li>4/27 「お口の健康から介護予防 口腔機能低下症を知ろう」</li> <li>11/4 「介護予防! 骨盤リラックス ストレッチ体操」</li> <li>12/8 「こんな時どうしたら良いの? 成年後見制度&amp;相続講座」</li> <li>3/17 「気功体験」</li> <li>・季刊誌・広報誌の発行 (年6回)</li> <li>・見守りを要する高齢者等への支援 (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) サロンや老人クラブの活動再開に向けて、お声掛けやご相談をさせていただき、再開に至っている。市民向け講座やスマホ勉強会などのイベントを通じ、地域住民の健康や生活状態の把握や情報発信につながり、目標は達成できた。集いの場やイベント、運動講座の必要性をみなさんからのお声であらためて感じる事ができた。今後も集いの場、イベント等を開催し、情報交換を図れる機会を作っていきたい。		
<b>(2)権利擁護業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>埼玉県警からの朝霞市の消費者被害の実情を踏まえ、高齢者の消費者被害や交通事故が増えているため、サロン、老人会、イベントを通じて、消費者被害や交通安全の普及啓発に努めていきたい。</b>		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の周知、活用</li> <li>・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応</li> <li>・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成</li> <li>・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討</li> <li>・警察と連携した消費者被害防止の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別・老人会・サロン等への周知 (随時)</li> <li>・民生委員や関係機関との連携 (随時)</li> <li>・専門職の連携や会議等を活用した事例検討 (随時)</li> <li>・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 埼玉県や埼玉県警からのリーフレットをサロン等、利用者宅へ配布、当センター主催での集いの場において、埼玉県警のご協力をいただき、消費者被害防止の啓発を行った。参加者同士の情報共有が行われることで、一人一人の防犯意識が高められた。毎年、防犯の啓発事業を行い、さらに防犯の意識向上を図っていきたい。		
<b>(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>圏域内の介護支援専門員のネットワーク構築や資質向上の機会が少ないため、介護支援専門員間での情報交換する機会を設けていきたい。</b>		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施</li> <li>・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携</li> <li>・介護支援専門員のネットワーク構築</li> <li>・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施</li> <li>・介護支援専門員への個別相談支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関連絡会議への参加 (随時)</li> <li>・全包括合同のケアマネカフェ (年4回)</li> <li>・居宅介護支援事業所の訪問 (随時)</li> <li>・介護支援専門員への個別支援 (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 圏域内の居宅介護支援事業所へ年4回訪問し、情報交換を行った。また、11月、2月は包括主催の地域ケア会議終了後に圏域内の介護支援専門員同士の情報交換の機会を設け、地域や介護サービス等の情報交換を幅広く行うことができた。各々介護支援専門員の持っている情報(介護サービスや医療情報など)を交換することで、今後の業務に役立つとの意見をいただいた。		
<b>(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>コロナの影響で老人クラブやサロン、運動教室が休止状態となり、認知機能や体力低下する人が増えているため、生活支援コーディネーターを中心となり、サロンや運動教室の活動や再開の支援を行っていく。</b>		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント</li> <li>・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる)</li> <li>・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知)</li> <li>・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う)</li> <li>・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援)</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント (介護保険給付サービス利用者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業対象者へのケアマネジメント (随時)</li> <li>・サービスCの有効的活用 (随時)</li> <li>・一般介護予防事業への支援 (随時)</li> <li>・介護予防に関する講座・教室等 (年3回)</li> <li>・地域の介護予防団体への支援 (随時)</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) コロナの影響などにより運動教室の再開のメドが立っていないが、近隣の公園を利用し、ラジオ体操を毎週実施することができた。また、2月からラジオ体操の前に太極拳を隔週で実施し、30名近い方がご参加されている。休止していたサロンも再開しており、活動内容の見直しにご協力をさせていただいている。内容としては、ミニ講座やレクリエーションをフレイル予防や認知症予防につながる協力を行えた。身近でできる運動を通して、参加者の健康や生活の状態把握につながる事ができた。		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(5)在宅医療・介護連携推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>圏域内のクリニックから問い合わせが度々あり、圏域内の高齢者の情報交換の方法を検討し、今後、医療機関や薬局との連携方法を模索していく。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護サービスの情報共有支援</li> <li>圏域毎での情報共有支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療・介護の資源の把握</li> <li>在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討</li> <li>切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進</li> <li>在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> <li>地域住民への普及啓発</li> <li>医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時)</li> <li>地域住民への普及啓発 (随時)</li> <li>市が主催する会議・研修会への出席・参加</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
圏域内のクリニックにおいて、出張相談を開催。その後、クリニックへイベント情報告知等をさせていただきながら、地域や患者さんの情報交換を行っている。また、センター周辺の薬局とも地域や高齢者の情報交換を行うことができた。顔の見える関係を構築することで、薬剤師さんの協力でミニ講座を5年度に開催予定、クリニックからのご相談も増え、また、ポスター掲示によるイベント参加もあった。今後も連携を図っていきたい。		
<b>(6)生活支援体制整備事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>徒歩15分圏内を活動範囲とし、地域住民の実情に合わせた社会資源が少ないため、圏域内の社会資源を発掘し、活用していく。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する生活支援ニーズへの対応</li> <li>社会資源の発掘・育成・活用</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援</li> <li>地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会資源の発掘・育成・活用 (随時)</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時)</li> <li>多世代交流を図るきっかけづくり(1回)</li> <li>地域の企業等との連携を図っていく(随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
コロナの影響もあり、既存の社会資源を活用が中心で南割公園でのラジオ体操・太極拳のみであった。しかしながら、第2層協議体と協働でみぞぬま児童館の協力を得て、多世代交流のイベントを開催することができた。場所だけの開拓ではなく、人の開拓・交流を発掘することができました。まだまだ、若い世代からの参加はないが、今回のイベントをきっかけとした、朝霞市社会福祉協議会の職員様、(株)リゾン様からのご協力をいただいたことは今後の第2層協議体の活動に役立つと考えています。		
<b>(7)認知症総合支援事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>認知症カフェの当事者の参加が少ない、認知症への理解と普及啓発の促進のため、認知症ケアガイドブック等を活用する。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①認知症の早期対応に向けた支援</li> <li>②認知症の方と家族への支援</li> <li>③医療・介護・家族の連携支援</li> <li>④認知症についての地域理解の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築</li> <li>・認知症に関する知識習得機会の提供</li> <li>・認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援</li> <li>・認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減</li> <li>・認知症サポーター養成講座の実施</li> <li>・ステップアップ講座等による地域の支援者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症への早期対応 (随時)</li> <li>・認知症ケアガイドブック等の活用 (随時)</li> <li>・認知症カフェ(オレンジカフェ) (月1回)</li> <li>・徘徊高齢者の声かけ訓練 (年1回)</li> <li>・知恵袋、家族介護者教室 (年2回)</li> <li>・認知症サポーター養成講座 (年3回)</li> <li>・地域の支援者の育成 (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
各事業での認知症ケアガイドブックを必要に応じて、活用することができた。しかしながら、認知症カフェの当事者参加につながらなかった。引き続き、認知症ケアガイドブックの配布と認知症当事者の把握に力をいれていきたい。次年度には、当事者にも参加しやすいプログラムを実施していきたい。		
<b>(8)地域ケア会議推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>地域ケア会議での地域課題が見えてこない。4年度の地域ケア会議では検討テーマを市と調整・連携し、地域課題の把握に努めたい。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別課題の解決</li> <li>・介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援</li> <li>・高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築</li> <li>・地域課題の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括単位の地域ケア会議 (年4回)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
4年度のテーマに沿って実施した地域ケア会議では「地域の見守り支援体制の構築」「地域に数多くのサロンが出来る事」「コロナ禍で活動休止しているサロンの再開」が課題としてあがった。今回の課題を生活支援コーディネーターへ引き継ぎ、社会資源開拓につながるよう働きかけを行った。		

令和4年度 朝霞市地域包括支援センター実績報告書 (基本的事項・重点項目) 地域包括支援センター名(モーニングパーク)

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			( ○ △ × )	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	△	△
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	<p>・自主活動グループは複数立ち上がったが、今後も更なる発展を望めるグループがある。活動に際し、社会福祉協議会との連携や、世代間交流を進める活動や認知症の理解を深める活動を通じて目標として、それらグループの自主化と支援者の理解を深めて、当事者を支える活動を行う。</p>	<p>・自主活動グループについては、社会福祉協議会の協力において、ノルディックウォーク講座後にさらなる自主的な活動の発展を見せたグループが出来た。また、認知症当事者を支える活動も定期化することが出来た。その「オレンジひまわり」の活動の継続については、その活動主体の方々や支援者との交流を深めていく。</p>	<p>立ち上げたグループの自主的な活動を支援することにより、充実した通いの場として成果が現れている。</p> <p>住民の声を丁寧に拾い、「オレンジひまわり」の立ち上げ支援に至ったのは、これまでのノウハウの蓄積を活かすことができたと評価でき、今後も認知症の方が、自分らしく地域を身近に感じて過ごせるような活動を期待する。</p>	

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(1)総合相談支援業務</b>		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p><b>地域のニーズや地域特性の一層の把握を目指すためには民生委員や自治会、老人会、町内会、地域の団体との繋がりをより深めていくことが課題である。定例会等の集いの場への参加や講座開催、情報発信のツールとして広報誌作成等に取り組み、団体及び個人間での地域ネットワーク構築の支援を行う。</b></p>		
<p>①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握</li> <li>・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点)</li> <li>・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携</li> <li>・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築</li> <li>・地域の自主グループ活動の育成、支援</li> <li>・ボランティア育成等の市民向け講座の実施</li> <li>・機関紙等の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張相談会 (1回)</li> <li>・相談支援(窓口・相談の各機能)やラジオ体操後の相談(ラジオ体操:122回 相談随時)</li> <li>・介護保険の相談・代行支援(随時)</li> <li>・地域の活動等への支援及び自主グループ立ち上げ(1回) ノルディックグループ「ひざおりの会」(朝光苑主体に協力)</li> <li>・民生委員との情報交換(4回)</li> <li>・家族介護者の相談、支援(随時)</li> <li>・地域ネットワーク構築の為に専門職による講座(8回) ネットワーク構築のための講座、やさしいカフェ</li> <li>・自治会・町内会との連携(随時)</li> <li>・介護保険説明(1回)</li> <li>・老人会・サロン等への支援及び出前講座(34回) 溝沼サロン、老人会、シニアルームサロン、メイあさかスマホ教室</li> <li>・回覧版でのイベント情報の周知(10回)及び町内会祭りへの参加(未開催)</li> <li>・地域団体との調整(随時)</li> </ul>
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>相談会や民生委員との情報交換により、自宅での生活が困難な方々の支援に入ることが出来た。課題を抱えている高齢者、その家族が多く存在するであろうことが分かってきた。今後も関係機関との連携を進め、まだ多く発見できてない生活が困難な方々の支援につなげたい。地域包括支援センター朝光苑と共催のノルディック講座などを通じて、比較的把握が進捗していない膝折地区の自主グループ立ち上げを支援した。広報誌に関しては「モーニングパーク通信」を発行し、回覧板やリゾンを通じて配布。集合住宅の掲示板やエレベーター内等に掲示頂いている。</p>		
<b>(2)権利擁護業務</b>		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p><b>よく耳にするのは高齢者の詐欺被害の多さである。また、虐待の相談も減少している訳ではない。独居の高齢者の増加やコロナ禍での同居家族との軋轢の緩和等の課題が背景にある。これらの被害を減少、さらに防止する為に、周知に取り組み、関係機関との連携強化を進め、早期介入を図る。</b></p>		
<p>①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の周知、活用</li> <li>・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応</li> <li>・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成</li> <li>・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討</li> <li>・警察と連携した消費者被害防止の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別・老人会・サロン等への周知(随時)</li> <li>・民生委員や関係機関との連携(随時)</li> <li>・専門職の連携や会議等を活用した事例検討(2回)</li> <li>・家族介護教室(2回) R4/10/31 第1・2部 R4/11/20 第3・4部</li> <li>・消費者被害防止や交通安全等の広報等による啓発(17回)</li> </ul>
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>虐待相談を受け、関係機関との連携を図り、支援する事例に繋がったケースが複数あった。一方で、詐欺被害等に関しては実際に合ってしまったというケースがある。今後はより一層、事前に相談をするよう啓蒙が必要であると考えており、広報、啓発を行いたい。今後も消費生活相談や場合によっては警察等と連動して早期の介入も図れる体制を構築したい。</p>		
<b>(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b>		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p><b>圏域内に事業所の数は多く、また、新圏域も加わる。連携を強化し、情報伝達等をスムーズにする為、特に新圏域の事業所との関係構築に取り組む。また現圏域内の事業所とのネットワーク構築や連携も引き続き図る。また関係機関、専門職間のネットワーク構築を支援する。</b></p>		
<p>①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施</li> <li>・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携</li> <li>・介護支援専門員のネットワーク構築</li> <li>・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施</li> <li>・介護支援専門員への個別相談支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関連絡会議及び地域密着型運営推進会議の参加(15回)</li> <li>・圏域内ケアマネジャー向け勉強会(2回)</li> <li>・全包括合同のケアマネカフェ(4回)</li> <li>・居宅介護支援事業所の訪問(随時)</li> <li>・介護支援専門員への個別支援(随時)</li> </ul>
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>圏域内ケアマネジャー向け会議や包括側からも日々の業務の連絡等も通じて、地域のケアマネジャーとの連携、協力体制が構築されつつある。居宅介護支援事業所の介護支援専門員からも協力依頼があり、その依頼を受けて、行動する機会が増えた。今後も協力体制を維持する。</p>		
<b>(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)</b>		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p><b>介護予防の対象となりそうな利用者向けの通いの場が少なさと場所迄の移動が課題である。また、コロナ禍でフレイルの状態の高齢者も増加している。介護予防及びフレイル予防の為に、リハビリテーションの専門職と高齢者自ら取り組めるような予防事業を展開する。</b></p>		
<p>①介護予防・日常生活支援総合事業 1)介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2)一般介護予防事業 ②指定介護予防支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント</li> <li>・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる)</li> <li>・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知)</li> <li>・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う)</li> <li>・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援)</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント(介護保険給付サービス利用者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・生活支援サービス・事業対象者へのケアマネジメント(随時)</li> <li>・サービスCの有効的活用(随時)</li> <li>・一般介護予防事業への支援(26回) ありがとうの会、いきいきネットワーク定例会、いきいきふれあい広場、ものづくり体験会</li> <li>・介護予防に関する講座・教室等(12回) 元気アップ体操、ノルディックウォーク(朝光苑、つつじの郷共催)</li> <li>・地域の介護予防団体への支援(26回) チーム富士山、切り絵(芸術祭・公民館祭りへの支援含む) ノルディック「もみじの会」「ひざおりの会」、フレッシュアップ体操</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント(随時)</li> <li>・リハビリ専門職による地域リハビリテーション活動支援事業(38件) 理学療法士による評価およびラジオ体操への参加</li> </ul>
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>リハビリテーションの専門職がラジオ体操の複数の会場に参加し、ラジオ体操前のストレッチ等専門的な運動を実施することで、介護予防及びフレイル予防の働きかけが一層出来るようになった。今後もその専門職の関わりで希望者には定期的な評価を実施する等、より専門的な内容も取り入れた介護予防事業へつなげる。</p>		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(5)在宅医療・介護連携推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>医療機関と介護サービス等の機関の連携には、利用者やその家族の理解が進んでいないことや、入院機関の面会の機会が限られている為、少ない直接的な情報から退院者のケアマネジメントへの導入の依頼を受けることも増えている。啓発や地域のケアマネジャーとの連携の機会を構築する。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護サービスの情報共有支援</li> <li>圏域毎での情報共有支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療・介護の資源の把握</li> <li>在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討</li> <li>切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進</li> <li>在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> <li>地域住民への普及啓発</li> <li>医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携に関する相談支援(随時)</li> <li>医療機関等との入退院支援(随時)</li> <li>ケアマネジャーとの連携を図る会議・研修会への出席・参加(3回)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
医療機関からの支援依頼が従前よりも増加、脳疾患、骨折等の治療、リハビリ終了後の生活支援や、がん末期の方の在宅でのケアへの支援の依頼はかなり目立ってきた。がん末期の方への対応は、時間に限りがある。在宅生活でのケア、医療、看護を想定して、スピード感を持って対応することが今後、更に必要である。		
<b>(6)生活支援体制整備事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>圏域には、集いの場が少ない地域が存在する。また、集いの場への繋がり自体が強くない地域もある。そこで、協議体などを通じて、現状の生活支援のニーズの把握を行い、それに対応する住民主体の活動づくり、支えあいのある地域づくりを目指す取り組みを行う。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する生活支援ニーズへの対応</li> <li>社会資源の発掘・育成・活用</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援</li> <li>地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2層生活支援体制整備協議体の運営(定例会:12回)</li> <li>社会資源の発掘・育成・活用・ボランティアの活用(随時)</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援(3回)</li> <li>広報紙の発行(6回)</li> <li>定例会</li> <li>「電動カート試乗会」「住まいの話」「小学生書道教室」</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
第2層協議体主体で高齢者の住居選びの講座や電動カート試乗会を開催。地域の方への周知やつながり作りを行った。また、協議体メンバーが地域のサロンや活動にも参加し、つながりを作りつつある。今後は地域内で徒歩圏内で行ける等、アクセスしやすい集いの場の構築にも取り組みたい。		
<b>(7)認知症総合支援事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>認知症が疑われても、医療に繋がっていないケースが多数想定される。同時に情報収集や相談の場へのハードルの高さ、認知症の方が過ごせる場の少なさが課題である。実施されている場への紹介、普及啓発の講座等の事業や取組を進める。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①認知症の早期対応に向けた支援</li> <li>②認知症の方と家族への支援</li> <li>③医療・介護・家族の連携支援</li> <li>④認知症についての地域理解の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築</li> <li>認知症に関する知識習得機会の提供</li> <li>認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援</li> <li>認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減</li> <li>認知症サポーター養成講座の実施</li> <li>ステップアップ講座等による地域の支援者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症施策推進会議(10回)</li> <li>認知症初期集中支援チーム検討会(12回)</li> <li>認知症への早期対応(随時)</li> <li>認知症ケアガイドブック等の活用(随時)</li> <li>8か所80冊配布(金融機関・塩味病院・認知症サポーター養成講座開催時)</li> <li>認知症カフェ(オレンジカフェ)(11回)</li> <li>徘徊高齢者の声かけ訓練(1回)</li> <li>知恵袋、家族介護者教室(3回)</li> <li>認知症サポーター養成講座(2回)</li> <li>地域の支援者の育成</li> <li>(地域でのサロンでの認知症の方の集いの場の構築)(8回)</li> <li>家族介護者の相談、支援(12回)</li> <li>DemeCafe、高次脳機能障害相談会</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
徘徊高齢者の声かけ訓練、認知症サポーター養成講座においても、高齢者から20～40代の世代の参加もあり、多世代の理解の促進と一層の啓発を進めていく。認知症サポーターを活用する場として、「オレンジひまわり」の立ち上げたことでサロンの選択肢を増やすことができている。		
<b>(8)地域ケア会議推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>地域課題の抽出までたどり着けていないことが課題である。また、個別性を重視した会議の推進を進めていく上でも、それらを見いだせるような地域課題、個別的な対応を引き出せる地域ケア会議の実施を目指すことに取り組む。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別課題の解決</li> <li>介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援</li> <li>高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築</li> <li>地域課題の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>包括単位の地域ケア会議(4回)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
地域ケア会議の実施によって、居宅介護支援事業所を中心として、利用中のサービス事業者からの課題が明らかになり、反映に繋がっている。しかし、会議の時間だけでは抽出し切れない課題も隠れていると考えており、どのようにすればその課題を抽出できるのか、R5年度の会議のあり方に沿って実施し、検証に繋げたい。		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			( ○ △ × )	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	△	△
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報が業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	<p>サロン活動継続の為、担い手の人材発掘や養成の機会が必要。体操ボランティア養成講座の開催とオレンジリングカフェ(仮)の創設を行う。</p> <p>地域住民の関心事を丁寧に拾いあげながら、住民が主体的に活躍することができる居場所の提供と、その支援を行う。</p>	<p>体操ボランティア養成講座の立ち上げを行い、サロン派遣が可能な担い手を複数名育成できた。オレンジリングカフェは3か月ごとに定期開催。認知症を学ぶ目的の他、認知症ケアガイドブックの配布や、地域で気になる方の相談が出来る場所として機能している。</p>	<p>今後のサロン派遣を見据えた担い手育成は、養成講座参加者の意欲向上に繋がっており、今後もサロンの新たな担い手や講座への参加機会の創出に向けた取り組みを期待する。</p> <p>市民の声を積極的に拾う姿勢が感じられ、特にオレンジリングカフェは、認知症サポーター養成講座受講者の新たな活動・活躍・学び直しの場となっている。</p>	

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(1)総合相談支援業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>課題:センター移転に伴い、周知活動の強化が必須。</b> <b>目標:自治会・町内会長と繋がり、“回覧板”の活用を試みることで周知啓発活動の体制を強化する。</b>		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握</li> <li>・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点)</li> <li>・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携</li> <li>・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築</li> <li>・地域の自主グループ活動の育成、支援</li> <li>・ボランティア育成等の市民向け講座の実施</li> <li>・機関紙等の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張相談会 (4回)</li> <li>・東部地区民生委員定例会への参加 (2回)</li> <li>・自治会・町内会との連携 (随時)</li> <li>・老人会・サロン等への支援 (随時)</li> <li>・老人会・サロン等での出前講座 (2回)</li> <li>・季刊誌の発行 (4回)</li> <li>・見守りを要する高齢者等への支援 (随時)</li> <li>・高齢者向け施設のいろは“施設説明会”</li> <li>・地域包括支援センター説明会、ヤクルトおなか元気教室</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 圏域内の自治会長・町内会長に連絡を取り、顔合わせをさせていただいている。包括の周知とともに、回覧板の活用について相談している。回覧板を通じて、地域住民からの反応というところまでには至っていない。年に4回程度を目処に今後も継続したいと考えている。		
<b>(2)権利擁護業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>課題:独居や認知症高齢者の増加に伴う、成年後見制度、特殊詐欺被害防止の普及啓発。</b> <b>目標:地域住民の体感治安を向上させる為、県政出前講座の活用を試みる。</b>		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の周知、活用</li> <li>・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応</li> <li>・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成</li> <li>・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討</li> <li>・警察と連携した消費者被害防止の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員や関係機関との連携 (随時)</li> <li>・専門職の連携や会議等を活用した事例検討 (随時)</li> <li>・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (随時)</li> <li>・老人会・サロン等へお助けかわらばん配布 (随時)</li> <li>・老人会・サロン等へ出前講座の活用 (随時)</li> <li>・高齢者向けスマートフォン講座の開催 (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 県政出前講座「あなたを狙う悪質商法」を開催する。朝霞市が県内で被害額が高いこと、相談窓口(消費生活センター、地域包括支援センター)の周知を行った。半数以上が“大変参考になった”と回答されたこと、県政出前講座を初めて活用できたことは有意義であった。次年度は埼玉県警を活用予定、講座開催の選択肢を広げたい。		
<b>(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>課題:ケアマネジメントにおける社会資源活用の実践。</b> <b>目標:介護支援専門員がSC・協議体と繋がることで、必要に応じたインフォーマルサービスをケアプランに反映することができる。</b>		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施</li> <li>・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携</li> <li>・介護支援専門員のネットワーク構築</li> <li>・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施</li> <li>・介護支援専門員への個別相談支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関連絡会議への参加 (随時)</li> <li>・全包括合同のケアマネカフェ (4回)</li> <li>・居宅介護支援事業所の訪問 (随時)</li> <li>・介護支援専門員への個別支援 (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) SC・協議体の紹介を掲載したサロンガイドブックを圏域の居宅介護支援事業所に配布した。当初想定していた直接的に繋がる機会を設けることができず、書面となった。時折、社会資源についてご相談の連絡をいただくことがあるものの、介護支援専門員が手軽にインフォーマルサービスの情報収集できる方法を再度検討したい。		
<b>(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>課題:サロンガイドブックの活用と訪問による活動実態の把握。</b> <b>目標:“職種に関わらず”地域資源について情報提供が可能となる体制を整備する。</b>		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント</li> <li>・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる)</li> <li>・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知)</li> <li>・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う)</li> <li>・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援)</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント (介護保険給付サービス利用者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・総合事業対象者へのケアマネジメント (随時)</li> <li>・サービスCの活用 (随時)</li> <li>・一般介護予防事業への支援 (随時)</li> <li>・ノルディック・ウォーク自主グループの立ち上げ支援</li> <li>・地域の介護予防団体への支援 (随時)</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 包括職員が地域のサロンに参加し、活動実態の把握に努めた。センター内の相談室にはサロンガイドブックを設置、SC以外の職員でも必要に応じて社会資源情報を提示できるようにすることで地域資源に繋がる方もいらっしやった。		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(5)在宅医療・介護連携推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>課題:診療所との連携体制の構築。</b>		
<b>目標:移転に伴うセンター周知のチラシや季刊誌を配布することで、地域の医療機関と顔が見える関係作りを築く。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護サービスの情報共有支援</li> <li>圏域毎での情報共有支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療・介護の資源の把握</li> <li>在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討</li> <li>切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進</li> <li>在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> <li>地域住民への普及啓発</li> <li>医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時)</li> <li>地域住民への普及啓発 (随時)</li> <li>市が主催する会議・研修会への出席・参加 (随時)</li> <li>圏域の診療所へ訪問活動 (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(どういったことが得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
圏域内の診療所、クリニックへ包括パンフレットと認知症ケアガイドブックを持参している。新設のクリニックには医師と窓口スタッフに包括の説明をすることができた。顔合わせできたことで、後日電話でご相談いただいたケースもあった。包括パンフレットにおいては今後も継続して置かせてもらいたいと考えている。		
<b>(6)生活支援体制整備事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>課題:ボランティアを養成する機会の提供が乏しく、将来的に担い手不足が懸念される。</b>		
<b>目標:体操ボランティア養成講座を実施し、既存の体操サロンへ派遣を行うことで、安定した継続体制を確立する。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する生活支援ニーズへの対応</li> <li>社会資源の発掘・育成・活用</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援</li> <li>地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会資源の発掘・育成・活用 (随時)</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時)</li> <li>体操ボランティア養成講座の開催 (随時)</li> <li>第2層協議体を主とするイベントの開催 (1回)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
第2層協議体を主体とした体操ボランティア養成講座を立ち上げる。結果として担い手が5名増え、オレンジカフェに派遣し活躍している。担い手が第2層協議体メンバーとなっている為、協議体に属さない地域住民の活用を見据えていきたい。		
<b>(7)認知症総合支援事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>課題:認知症に対して理解・関心のある方の受け皿不足。</b>		
<b>目標:オレンジングカフェ(仮)の創設することで、認知症に関する学びの場の提供と早期対応できる相談支援体制を構築する。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①認知症の早期対応に向けた支援</li> <li>②認知症の方と家族への支援</li> <li>③医療・介護・家族の連携支援</li> <li>④認知症についての地域理解の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築</li> <li>・認知症に関する知識習得機会の提供</li> <li>・認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援</li> <li>・認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減</li> <li>・認知症サポーター養成講座の実施</li> <li>・ステップアップ講座等による地域の支援者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症への早期対応 (随時)</li> <li>・認知症ケアガイドブック等の活用 (随時)</li> <li>・認知症カフェ(オレンジカフェ) (随時)</li> <li>・徘徊高齢者の声かけ訓練</li> <li>・知恵袋、家族介護者教室</li> <li>・認知症サポーター養成講座</li> <li>・地域の支援者の育成 (随時)</li> <li>・オレンジングカフェ(仮)の開催 (4回)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
オレンジングカフェを立ち上げる。これまで有効活用できなかったケアガイドブックを活用しながら、認知症について学ぶ機会を設けることが出来た。介護者家族の参加による気分転換の場や認知症と思われる方の個別相談の場としても機能している。今後は他の機会も検討したい。		
<b>(8)地域ケア会議推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>課題:個別課題の解決を図る為、総合的な検討ができるよう、多職種の協働が必要。</b>		
<b>目標:民生委員を参集し、ネットワーク体制の強化と地域課題の解決に努める。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握すること、解決策を検討する機能を有する会議の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別課題の解決</li> <li>・介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援</li> <li>・高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築</li> <li>・地域課題の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括単位の地域ケア会議 (年4回)</li> <li>・民生委員や関係機関との連携 (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
年4回の地域ケア会議を開催している。令和4年度より民生委員に出席をいただいている。事例によっては民生委員の視点での意見をいただくこともあった。今後も民生委員にはオブザーバーとして継続して出席していただくこととしている。		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			( ○ △ × )	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	△	△
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報に業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	ワンストップサービスの拠点となるよう相談体制を強化するとともに、多方面とのネットワーク構築に取り組む。多様なテーマから幅広い世代に対しアプローチし、地域包括との繋がりを形成していくことを目指す。	AIを活用した身体評価・防災・感染症対策等をテーマにした市民向け講座、ラジオ体操新規開催、サロンよろず屋などに新たな住民が徐々に参加され、包括との繋がりを持つことができた。物忘れ外来リスト作成や民生委員会議の継続、センター内での事例検討により相談体制を強化した。	多種多様な講座を開催することにより、これまで地域のつながりが希薄だった市民と包括の関係構築は意義があり、今後も包括が身近な存在となる施策を期待する。 圏域独自のリストの作成等に伴い、医療との連携がスムーズになっていると評価でき、相談者のニーズ合わせた適切な医療支援にも繋がっていることが感じられる。	

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(1)総合相談支援業務</b>		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p><b>多様な相談に対する対応力を強化するため、カンファレンスや職員研修を行い更なる支援体制と対応力強化に取り組む。センター内の専門職が連携しワンストップサービスの拠点となることを目指す。早期に相談を受け介入できる体制の構築により、安心して地域で生活できることを目指す。幅広い世代へアプローチするため、相談のきっかけ作りとなる講座の開催やセンター機能の周知を行う。</b></p>		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握</li> <li>・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点)</li> <li>・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携</li> <li>・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築</li> <li>・地域の自主グループ活動の育成、支援</li> <li>・ボランティア育成等の市民向け講座の実施</li> <li>・機関紙等の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談受付(窓口・電話・訪問・文書(メール含む)) (随時)</li> <li>・出張相談会(なんでも相談会:幸町・栄町・膝折町) (各年1回)</li> <li>・生活支援民生委員会議(幸町・栄町・膝折町) (幸町・栄町・各年3回/膝折町・年2回)</li> <li>・市民向け講座(AIを活用した身体機能評価による介護予防のススメ/今こそ知っておきたい感染症予防講座/安心入浴セミナー) (各年1回)</li> <li>・老人会・サロン等への支援 (19ヶ所・年167回)</li> <li>・老人会・サロン等での出前講座(霞台町内会「介護予防のススメ講座・健康相談会」)(年1回)</li> <li>・広報誌「こすもす」の発行 (年4回)</li> <li>・包括紹介チラシの発行(年1回)</li> <li>・包括会議(月1回)</li> <li>・市民や関係機関等へのセンター機能の周知(広報誌配布・976部)</li> </ul>
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>市民向け講座は出張相談会と同時開催し、AIによるウォーキングチェック、感染対策、高齢者の安全な入浴といったテーマで実施。これまであまり取り上げなかった題材を選び関心を持ってもらうことで、新たな住民等との繋がりのきっかけ作りにした。徐々に新しい地域住民の参加が見られている。今後も介護予防に繋がることが期待される多様なテーマでの講座開催を検討する。</p>		
<b>(2)権利擁護業務</b>		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p><b>成年後見制度について社会福祉士を中心に、センター内で制度について熟知するとともに、地域住民や関係者等への周知を行う。また社会福祉協議会のあんしんサポートねっと等の成年後見制度以外の権利擁護事業についての情報提供も行う。高齢者虐待防止に関しては、未然防止を目標に、認知症総合支援とも連動し、冊子の活用やチラシを作成するなどして多方面への周知を行う。また消費者被害防止についてもチラシ等を活用し啓発を行う。</b></p>		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の周知、活用</li> <li>・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応</li> <li>・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成</li> <li>・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討</li> <li>・警察と連携した消費者被害防止の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速やかな個別対応支援及び市との連携(虐待・年45回/成年後見制度・年29回)</li> <li>・個別・老人会・サロン等への周知 (成年後見制度冊子配布・年55部)</li> <li>・民生委員や関係機関との連携 (生活支援民生委員会議幸町・栄町・各年3回/膝折町・年2回 ※8月中止)</li> <li>・成年後見制度講座「私でも申し立てできますか？」 (年1回)</li> <li>・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (消費者被害防止周知・年延404人/交通安全周知・年延729人)</li> </ul>
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>成年後見制度講座は申し立て実務について取り上げ、市民・ケアマネジャー対象とした。制度概要についての講座は多いが、実務については話を聞けるところがないという参加者の声があり、実務講座のニーズがあることがわかった。またそれに関連する任意後見や遺言書作成・家族信託等についても、関心はあるが相談・問い合わせ先が分からない等の声もあり。情報提供や講座開催での対応を行っていきたい。</p>		
<b>(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b>		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p><b>多種多様な支援のもと、利用者が地域で安心して生活できるよう、介護支援専門員に対し利用者を中心とした地域のネットワーク構築を支援する。介護保険サービス以外の多様なサービスに関する情報提供を行う。またケアマネジメントに関する個別相談・アドバイス、研修機会の提供等の支援を行う。</b></p>		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施</li> <li>・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携</li> <li>・介護支援専門員のネットワーク構築</li> <li>・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施</li> <li>・介護支援専門員への個別相談支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括主催地域ケア会議での事例検討(年3回 ※8月中止)</li> <li>・地域密着型運営推進会議への出席(多機能ホーム桜が丘・リハビリ朝霞・幸)(多機能ホーム桜ヶ丘・書面年6回/リハビリ朝霞・幸・書面年2回)</li> <li>・全包括合同のケアマネカフェ (年4回)</li> <li>・居宅介護支援事業所の訪問・情報交換 (3事業者・各年4回/1事業所・年1回)</li> <li>・介護支援専門員への個別支援 (年563回)</li> </ul>
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>全包括合同のケアマネカフェでは、グループワークの実施により活発な意見交換や交流を図ることができた。第2回講座で朝霞地区医師会の地域包括ケア支援室について取り上げたが、支援室について初めて情報を得たケアマネジャーが多かったことがわかった。今後も多様な地域資源について情報提供に取り組んでいく。</p>		
<b>(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)</b>		
<p>課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)</p> <p><b>地域住民が主体となって行う介護予防の活動の活性化と継続支援を目指すため、介護予防に関心のある市民を見つけ出し、自主グループに繋げていく。サービスCはフレイルチェックを通じて対象者を発掘し利用に繋げ、重度化防止を目指す。事業対象者・要支援者のケアマネジメントについては、状態悪化の予防や改善に向けた視点を持つため、市主催地域ケア会議や職員研修、センター内のカンファレンスを通じてケアマネジメントの資質向上を図る。</b></p>		
①介護予防・日常生活支援総合事業 1)介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2)一般介護予防事業 ②指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント</li> <li>・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる)</li> <li>・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知)</li> <li>・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う)</li> <li>・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援)</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント(介護保険給付サービス利用者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業対象者へのケアマネジメント (年316回)</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント (年6, 529回)</li> <li>・ラジオ体操(膝折町市民センター広場)(10/13より新規開催・週1回)</li> <li>・ラジオ体操(幸町・栄町)参加者のフレイルチェック(幸町・年4回/栄町・年5回)</li> <li>・体操サポーター養成フォローアップ講座(年1回)</li> <li>・ノルディックウォーク教室(年1回/全10回)</li> <li>・免疫力アップ!気功体験(年1回)</li> <li>・地域の介護予防団体への支援 (19ヶ所・年167回)</li> <li>・サロンガイドブックの配布(年89部)</li> </ul>
<p>実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)</p> <p>朝霞市社協・ノルディックあさかと共催したノルディックウォーク講座後、自主グループ化できた。参加者が令和5年度に開催している太極拳講座との繋がりもあり、今後両方の活動から住民ネットワークを広げていきたい。新たに膝折町方面でラジオ体操を開始。参加者が定着し、地域包括との繋がりもでき始めている。近隣のサロンにも周知し、参加者を増やしていきたい。</p>		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(5)在宅医療・介護連携推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>通院・入院医療から在宅医療まで切れ目のない支援を行い、地域で安心して療養できる体制を構築するため、相談に適切に対応し、利用者やその家族等の意向に添った在宅での療養体制がスムーズに整うように、地域の医療・介護資源等の情報提供と利用を支援する。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護サービスの情報共有支援</li> <li>圏域毎での情報共有支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療・介護の資源の把握</li> <li>在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討</li> <li>切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進</li> <li>在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> <li>地域住民への普及啓発</li> <li>医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療に関するニーズの把握と相談支援 (年700回)</li> <li>市が主催する医介連携作業部会(年2回)/在宅介護連携推進会議(年1回)/在宅医介連携多職種合同研修会及び意見交換会(年3回)/ACPのための共有意思決定を学ぶ研修会(年1回)</li> <li>物忘れ・認知症の相談ができる近隣の医療機関の紹介リーフレット作成・(情報提供はR5年4月より実施)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください。)		
近隣の8医療機関の物忘れ・認知症外来の初診受付の流れをリーフレットとして作成。医療機関ごとに異なる初診時の流れをわかりやすくすることで、スムーズに医療に繋げることができている。今後も相談受付時に活用する。		
<b>(6)生活支援体制整備事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>日頃から住民同士が繋がりをもち、地域で安心して生活できるようにするため、どの世代にも課題となるテーマを取り上げ、繋がりの重要性の啓発を行う。また、町内会毎の課題などについて情報収集し、第2層協議体と連携し、課題の検討を行う。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する生活支援ニーズへの対応</li> <li>社会資源の発掘・育成・活用</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援</li> <li>地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災入門講座(年1回)</li> <li>第2層協議体「よろず屋」会議(月1回・うち書面2回)</li> <li>Salonよろずや開催(年6回)</li> <li>住民主体の活動の支援 (15ヶ所・年56回)</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
地域住民との繋がり形成や地域ニーズの把握のため、サロンよろず屋・防災講座を開催した。サロンはロコミで参加者を増やしたが、栄町高齢者地域交流室や第2層協議体を初めて知ったという声があり、交流室のあるマンション住人に向け情報提供し参加の呼びかけを行った。膝折団地自治会長と生活支援コーディネーターとの懇談では、高齢男性の社会参加が課題との共通認識を得た。今後も第2層協議体で地域課題の抽出や人的資源の発掘に努める。		
<b>(7)認知症総合支援事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>認知症高齢者が必要な支援を受け、地域で安心して生活できるようにするため、認知症カフェやサポーター養成講座・ケアガイドブック等を活用し、地域住民等に対し啓発や情報提供を行う。また認知症高齢者が適切な支援を受け状態悪化を防げよう、民生委員や地域住民等と連携し、見守りネットワークを構築しながら、継続的な見守り支援を行う。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①認知症の早期対応に向けた支援</li> <li>②認知症の方と家族への支援</li> <li>③医療・介護・家族の連携支援</li> <li>④認知症についての地域理解の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築</li> <li>認知症に関する知識習得機会の提供</li> <li>認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援</li> <li>認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減</li> <li>認知症サポーター養成講座の実施</li> <li>ステップアップ講座等による地域の支援者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症への早期対応(随時)</li> <li>初期集中支援チーム出席(月1回 ※2月中止)</li> <li>認知症ケアガイドブック等の活用 (年37部)</li> <li>認知症カフェ(オレンジカフェ) (月1回・8月除く・9月中止)</li> <li>知恵袋、家族介護者教室(知恵袋・2回/家族介護者教室・2回)</li> <li>認知症サポーター養成講座(年1回・土曜日開催)</li> <li>オレンジカフェボランティア協力(参加延39人)</li> <li>セルフネグレクト等課題のある高齢者等への見守りを中心とした継続的支援(年153回)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
認知症サポーター養成講座では、認知症のある方を介護する家族に話をしていただいた。講義自体も動画を多数取り入れ分かりやすいと好評であったが、体験談を聞くことでより具体的に認知症を受け止め、受講者の認知症理解促進に繋がった。今後の養成講座でも介護者の体験談を取り入れていく。地域等から情報提供があり把握した課題のある高齢者についてはセンター独自のシートを活用し見守りを中心とした支援を継続。見守りの必要性について判断基準を設け、支援目標を設定することで、支援の方向性や目標到達状況などを可視化できている。今後も継続する。		
<b>(8)地域ケア会議推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>介護支援専門員と地域包括支援センターをはじめとする多職種や地域の人的資源等が連携し、ネットワークを構築することで、住民が住みやすい地域となることを目指す。介護支援専門員が行うケアマネジメントから個別課題と地域課題を把握し、多職種により連携を検討する。また、事例検討から3か月後に事例の振り返りを行うことにより、課題解決のモニタリングを行う。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別課題の解決</li> <li>介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援</li> <li>高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築</li> <li>地域課題の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>包括主催地域ケア会議 (年3回 ※8月中止)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
包括主催地域ケア会議では高齢の親と障害のある子の世帯、身寄りなし、経済困窮の事例を取り上げた。個別課題が多い事例ではあったが、共生型サービスの必要性など地域課題の抽出もできた。今後は市と連動した地域ケア会議の方式に変更となるため、包括主催地域ケア会議でもそれに応じた内容で実施していく。		

朝霞市地域包括支援センター 運営方針		評価基準	自己評価	市評価
			( ○ △ × )	
基本的事項	事業計画の策定	地域の実情に応じた課題・計画を策定し、各地域での特色のある創意工夫した事業運営をしている	○	○
	人員配置基準	基準に沿った有資格者等を常勤で配置している(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員(これらに準ずる者を含む))	△	△
	職員の姿勢	地域の高齢者の最善の利益を図るために業務を遂行している	○	○
	市との連携	市と連携を図り、情報の共有をすることにより、困難ケース等の対応をしている	○	○
	地域との連携	地域を支える中核的な機関として、地域における関係者と連携し、資源を活用し高齢者を支援している	○	○
	個人情報の保護	保有する個人情報が業務に関係のない目的で使用され、漏洩することがないように個人情報に関する責任者(常勤)を配置し、情報管理を徹底化している	○	○
	広報活動	パンフレットやチラシ等を作成し、地域住民及び関係者へ積極的に広報している	○	○
	苦情対応	センターに関する苦情等については、その内容を記録し、迅速かつ適切に対応している	○	○
重点項目	課題と目標	実施報告と評価	市の評価	
	目標：相談機関としての運営ができる 課題： <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のネットワーク構築</li> <li>・情報発信、相談体制の構築</li> <li>・介護予防への意識付けができる</li> </ul>	目標については、開所初年度のため、来所者や相談は少ないかと思ったが、早期から突然の来所や年間を通して相談件数も多かった。 地域に出向く中で、当圏域には集える場所が少ないこと、田島地域の高齢化により、支援が必要な方が多くいることが判明した。 年度を通して、一定の周知を図ることはできたが、圏域変更を知らない方も多く、引き続き周知が必要と感じた。	令和4年度から開設し、他圏域からの引継ぎ、予想を上回る件数の相談対応の中、意図的に地域に目を向けようとする意識が感じられる。 その中でケアマネジャーと積極的に同行訪問支援を行うなど地域のネットワーク構築を見据えた取り組みは評価できる。 地域資源を含めたネットワーク構築を行っていくことによって包括の周知を継続して繋げていくことを期待する。	

包括的支援事業(包括支援センターの運営) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(1)総合相談支援業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>課題:地域課題や現状把握が必要である。</b> <b>目標:ワンストップ窓口として関係機関及び制度の利用につながるよう相談支援を行う。</b>		
①実態把握 ②総合相談業務 ③地域包括支援ネットワーク構築業務 ④地域住民への啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のニーズ、地域ニーズ・特性の把握</li> <li>・総合的かつ迅速に相談できる体制(ワンストップサービスの拠点)</li> <li>・民生委員、自治会・町内会、地域住民等との情報共有・連携</li> <li>・本人・家族・事業者・関係団体・地域住民等の人的資源の把握とネットワークの構築</li> <li>・地域の自主グループ活動の育成、支援</li> <li>・ボランティア育成等の市民向け講座の実施</li> <li>・機関紙等の発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張相談会 2回</li> <li>・民生委員定例会への参加 4回</li> <li>・自治会・町内会との連携 (随時)</li> <li>・老人会・サロン等への支援 (随時)</li> <li>・老人会・サロン等での出前講座 1回</li> <li>・市民向け講座 1回「人生会議-終末期を迎えるにあたり大事なこと-</li> <li>・機関紙・広報誌の発行 2回</li> <li>・見守りを要する高齢者等への支援 (随時)</li> <li>・ラジオ体操(週1回) 北朝霞公園</li> <li>・美顔ヨガ(週1回) 包括内</li> <li>・手話講座 8回</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) ラジオ体操や美顔ヨガを5月より開始し、包括周知や職員との顔の見える関係作り、地域へのつながりを作りました。また相談業務が多い中、限られた時間の中で地域へ出向きました。当圏域には集える場所が少ないこと、田島地域の高齢化により、支援が必要な方が多くいることがわかりました。彩夏祭の前夜祭の健康相談会では、子連れの方も参加し、子供も血圧測定や握力測定など行いました。公園前、駅に近いこともあり、来所者も多く、環境を活かし多世代に活用できるよう、周知・職員の勉強を行っていきたい。		
<b>(2)権利擁護業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>課題:感染症長期化により、介護サービス利用停止やテレワーク・失業などにより介護者の負担が大きくなっている。</b> <b>目標:孤立防止や虐待防止のため、訪問時の様子確認や民生委員との連携を密にする。</b>		
①成年後見制度の活用 ②高齢者虐待の防止及び対応 ③困難事例への対応 ④消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の周知、活用</li> <li>・高齢者虐待の状況把握と迅速適切な対応</li> <li>・介護者の孤立防止、認知症への理解啓発、高齢者権利の意識醸成</li> <li>・困難事例に対する専門職の連携、各種会議等の活用による対応検討</li> <li>・警察と連携した消費者被害防止の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別・老人会・サロン等への周知 (随時)</li> <li>・民生委員や関係機関との連携 (随時)</li> <li>・専門職の連携や会議等を活用した事例検討 (随時)</li> <li>・消費者被害防止や交通安全等の啓発 (随時)</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) コロナ感染減少により、介護サービス利用停止は少ない状況でした。親族のテレワークの状況は続いていましたが、家族間が希薄化しているため、体調悪化時の必要性を家族が理解していませんでした。虐待や成年後見制度(市長申し立て、親族申し立て)の支援を、市や関係機関と連携し対応を行いました。今後も訪問時の様子や家族の生活状況含め、孤立化防止・虐待防止のため聞き取りを行いたい。		
<b>(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>課題:困難事例を抱えているケアマネジャーも多く、相談しやすい関係作りが必要。</b> <b>目標:同行訪問や事業所訪問を通じ、相談しやすい包括を目指す。</b>		
①包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備 ②介護支援専門員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催地域ケア会議と連動した包括単位の地域ケア会議の実施</li> <li>・関係機関(フォーマル・インフォーマル含む)との連携</li> <li>・介護支援専門員のネットワーク構築</li> <li>・介護支援専門員の資質向上のための情報提供、研修の実施</li> <li>・介護支援専門員への個別相談支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関連絡会議への参加 (随時)</li> <li>・全包括合同のケアマネカフェ 4回</li> <li>・居宅介護支援事業所の訪問 4回</li> <li>・介護支援専門員への個別支援 (随時)</li> <li>・ACP 講座 1回</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) 居宅事業所を訪問することで、電話をするまでには至っていないケアマネジャーの困っている相談を受けました。同行訪問を視野に入れて、必要に応じて対応を行いました。ACP 講座をケアマネジャー対象に1回行いました。話をするきっかけや、どのように話をすればよいかわからないとの意見もありました。今後も本人が暮らしたいと思う場所で生活できるよう講座などを継続し、ケアマネジャー支援を行っていきたい。		
<b>(4)介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。) <b>課題:市民がどのようにすれば介護予防につながるのか、理解できていない。</b> <b>目標:リハビリテーション専門職による支援をとうし、一人一人の生活の質を高めることができる。</b>		
① 介護予防・日常生活支援総合事業 1) 介護予防・生活支援サービス事業 対象者のケアマネジメント 2) 一般介護予防事業 ② 指定介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・生活支援サービス事業対象者のケアマネジメント</li> <li>・介護予防把握事業(例:閉じこもり等で何らかの支援を要する人を把握し、介護予防の活動へつなげる)</li> <li>・介護予防普及啓発事業(例:介護予防に関する講座や教室・講演会を開催し介護予防の重要性を周知)</li> <li>・地域介護予防活動支援事業(例:地域住民が主体となって行う介護予防の活動に対し支援などを行う)</li> <li>・地域リハビリテーション活動支援事業(例:介護予防の取組を強化するため、地域の介護予防活動にリハビリテーション専門職等が参加し活動を支援)</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント (介護保険給付サービス利用者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業対象者へのケアマネジメント (随時)</li> <li>・サービスCの有効的活用 (随時)</li> <li>・一般介護予防事業への支援 (随時)</li> <li>・介護予防に関する講座・教室等 1回</li> <li>・地域の介護予防団体への支援 (随時)</li> <li>・要支援認定者へのケアマネジメント (随時)</li> <li>・リハビリ職による相談会 1回</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください) リハビリ職員がラジオ体操に随時参加し、体操後に個別に話ができるように行いました。まだ顔なじみの関係ができておらず、具体的な相談には至っていませんが、腰痛や膝痛に対するアドバイスを行っていました。サービスCは、介護保険申請に至らないまでも、教室に参加することで改善できる可能性がある方に声掛けを行いました。しかし、その後の行き場がないこともわかりました。リハビリ職員が関わることで、健康への意識付け、困ったことを相談でき、早期に改善へつながる可能性があります。今後も継続して介護予防への必要性を伝えていきたい。		

包括的支援事業(社会保障充実分) ※介護保険法及び厚生労働省通知「地域包括支援センター設置運営について」を基に作成

朝霞市地域包括支援センター運営方針	実施内容	事業実績(事業名及び実施回数を記載してください)
<b>(5)在宅医療・介護連携推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>課題:住み慣れた地域で暮らすために、本人・家族や関係する人に考え、伝えることが必要。</b>		
<b>目標:ACP 普及啓発により、意思表示ができる。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護サービスの情報共有支援</li> <li>圏域毎での情報共有支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療・介護の資源の把握</li> <li>在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討</li> <li>切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進</li> <li>在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> <li>地域住民への普及啓発</li> <li>医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修など、地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携に関する相談支援 (随時)</li> <li>地域住民への普及啓発 (随時)</li> <li>市が主催する会議・研修会への出席・参加</li> <li>医療と看護、リハビリ職の健康相談会 1回</li> <li>ACP講座 2回</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
彩夏祭前夜祭の金曜午後、看護・リハビリ職の健康相談会を行いました。コロナの影響により来所者は少ない中、ゆっくり体調面について相談できました。ACP 講座は、ケアマネジャー向け・市民向けの 2 回行いました。ケアマネジャーはどのように話をしたらよいかわからない。市民は、各年代の方が来ましたが、高齢者の方もまだ早い、必要性を感じていない方が多くおりました。核家族化しており、家族と ACP について話をする機会も少なく、迷惑をかけたくないと話をしていない方もいると思われます。まずは、我が事として自分で考えるきっかけ作りとして、継続して講座を行っていきたい。		
<b>(6)生活支援体制整備事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>課題:高齢者の在宅生活を支えるため、地域の社会資源や防災情報の情報収集が必要である。</b>		
<b>目標:住民同士の助け合いの土台作りを行う。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における介護予防及び互助活動につながる、住民主体の活動グループの発掘・育成・支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する生活支援ニーズへの対応</li> <li>社会資源の発掘・育成・活用</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援</li> <li>地域のつながりの重要性の啓発、多様な主体間の情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会資源の発掘・育成・活用 (随時)</li> <li>協議体の地域の実情に応じた活動支援 (随時)</li> <li>地域資源マップの作成(随時)作成中</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
高齢者の多い田島地区のラジオ体操やゆるふわ体操などに参加しました。今まで来ていた方が来れなくなった方を心配しており、地域住民のつながりの深さを感じるとともに、包括職員がかかわっていくことの重要性を感じました。いきいきネットワークやスマホ教室などに参加し、社会資源とのつながりを行いました。まだ限定的でサロンなどの把握ができていない状況です。来年度生活支援コーディネーターと共に、社会資源の発掘、育成、地域資源マップの作成を継続していきたい。		
<b>(7)認知症総合支援事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>課題:本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていく。</b>		
<b>目標:認知症の理解や地域に支援者がいることを伝えていく</b>		
①認知症の早期対応に向けた支援 ②認知症の方と家族への支援 ③医療・介護・家族の連携支援 ④認知症についての地域理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期集中支援チーム員として認知症の方及び家族に早期対応できる支援体制の構築</li> <li>認知症に関する知識習得機会の提供</li> <li>認知症専門医や地域の支援機関との連携、困難事例の検討・支援</li> <li>認知症カフェや徘徊高齢者見守り支援事業の実施により地域の連携支援、家族介護者の負担軽減</li> <li>認知症サポーター養成講座の実施</li> <li>ステップアップ講座等による地域の支援者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症への早期対応 (随時)</li> <li>認知症ケアガイドブック等の活用 (随時)</li> <li>認知症カフェ(オレンジカフェ) 1回</li> <li>徘徊高齢者の声かけ訓練 0回</li> <li>知恵袋、家族介護者教室 3回</li> <li>認知症サポーター養成講座 1回</li> <li>地域の支援者の育成 (随時)</li> <li>認知症相談会 リハビリ職員 1回</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
オレンジカフェは、作業療法士と共に 1 回行いました。介護者の認知症の相談や、当事者に作業療法士がフォローしながら一緒に作品を作りプレゼントしました。知恵袋や家族介護教室、当包括のオレンジカフェをどうして、介護者・当事者の話の出来る場所の必要性を感じました。リハビリ専門職のアドバイスが加わることで、負担軽減や住み慣れた場所で自分らしく暮らし続けることが可能です。継続してオレンジカフェを行います。		
<b>(8)地域ケア会議推進事業</b>		
課題と目標 (どういったことを目指すためには何が課題で、どのような結果を得られるように事業や取組を行うか、記載してください。)		
<b>課題:困難事例解決や地域課題を整理し、支援を行っていく</b>		
<b>目標:医師・看護師・リハビリ療養士を動員し、協同することで問題解決につなげる。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種協働による、個別ケースの自立生活支援検討の会議から、地域の課題を把握することと、解決策を検討する機能を有する会議の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別課題の解決</li> <li>介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援</li> <li>高齢者の実態把握や課題解決のためのネットワーク構築</li> <li>地域課題の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>包括単位の地域ケア会議 3回</li> </ul>
実施報告と評価(実施した内容と、実施した結果どうだったか(何が得られたのか)、今後はどうしていくかを評価してください)		
地域ケア会議は、ひいらぎの里と合同開催 2 回と当包括主催で 1 回行いました。当包括主催は、医師・薬剤師・訪問看護師・訪問リハビリ職員にアドバイザーをお願いしました。訪問看護は、病気や家族など生活全般のアドバイスをいただきました。また、介護サービス以外に出向く場所の少なさ、出向く足がないことも課題としてあがりました。今後は在宅生活の中でも医療と介護をつなぐこと、ACP においても訪問看護のアドバイスは必要であり、圏域のケアマネジャーとともに問題解決につなげていきたい。		

令和4年度  
朝霞市地域包括支援センター  
収支決算書

第1圏域	内間木苑
第2圏域	つつじの郷
第3圏域	モーニングパーク
第4圏域	ひいらぎの里
第5圏域	朝光苑
第6圏域	あさか中央

令和4年度 地域包括支援センター（内間木苑） 収支決算書 NO.1

【収入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	包括的支援事業委託料	31,169,000	31,169,000	0	32,406,946	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,160,000	3,969,059	-809,059	4,446,880	
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	3,996,000	
	4	雑収入		170	-170	174	銀行利息
	5				0		
収入計 ①			39,625,000	39,134,229	490,771	40,850,000	
2. 指定介護予防支援事業分							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	住宅改修意見書作成料	80,000	4,400	75,600	0	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	2,900,000	3,161,401	-261,401	3,992,589	
	3	雑収入	0	0	0	8,000	
	4						
	5						
収入計 ②			2,980,000	3,165,801	-185,801	4,000,589	
収入合計（①+②）③			42,605,000	42,300,030	-	44,850,589	

令和4年度 地域包括支援センター（内間木苑） 収支決算書 NO.2

【支出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）							
項目	NO.	科目	本年度予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明
人件費支出	1	常勤職員給与	25,600,000	26,634,488	-1,034,488	26,579,916	年度末人員5名
	2	非常勤職員給与	1,900,000	2,116,683	-216,683	2,017,867	年度末人員1名
	3	法定福利費	3,760,000	3,584,731	175,269	4,249,091	
	4	退職金	667,000	667,500	-500	534,000	
	5	退職金共済掛金	230,000	230,400	-400	230,400	共助会掛金
	6	コーディネーター給与	4,003,000	3,985,338	17,662	4,024,116	
支出計 ④			36,160,000	37,219,140	-1,059,140	37,635,390	
事務・事業費支出	1	保健衛生費	60,000	117,250	-57,250	66,409	ハ°-ハ°-タカ等・PCR検査
	2	水道光熱費	800,000	1,483,945	-683,945	1,079,703	電気・水道等
	3	消耗器具備品費	300,000	97,833	202,167	1,387,462	事務用備品等
	4	保険料	300,000	161,870	138,130	233,869	車両任意保険料等
	5	車輛費	280,000	242,549	37,451	240,604	車両燃料費
	6	福利厚生費	80,000	125,814	-45,814	154,349	職員健康診断料他
	7	旅費交通費	60,000	45,990	14,010	49,837	駐車料金・電車賃
	8	研修研究費	100,000	1,800	98,200	35,600	研修費
	9	事務消耗品費	500,000	460,442	39,558	452,302	事務文具類・印刷代等
	10	修繕費	300,000	274,231	25,769	186,967	車両修理等
	11	通信運搬費	550,000	567,089	-17,089	577,695	電話・携帯電話・切手代
	12	会議費	30,000	34,710	-4,710	20,870	会議諸経費
	13	賃借料	450,000	303,228	146,772	445,926	電話リース・FAX機・機リース料
	14	広報費	100,000	0	100,000	150,000	求人募集なし
	15	業務委託費	1,200,000	1,495,671	-295,671	1,590,576	設備管理・清掃等(面積按分等)
	16	手数料	1,100,000	1,161,716	-61,716	1,892,972	会計士・社労士・謝礼金等
	17	租税公課	40,000	29,200	10,800	42,400	印紙代
	18	保守料	120,000	126,390	-6,390	92,180	消防設備保守等
	19	諸会費	20,000	18,305	1,695	18,305	県老人福祉施設協議会会費他
	20	雑支出	55,000	29,748	25,252	41,054	集会所代・礼儀加工等
支出計 ⑤			6,445,000	6,777,781	-332,781	8,759,080	
支出合計（④+⑤）⑥			42,605,000	43,996,921	-	46,394,470	
収支差額（③-⑥）			0	-1,696,891	-	-1,543,881	

令和4年度収入済額

42,300,030

令和4年度支出済額

43,996,921

収支差額

-1,696,891

※収支差額は、当該年度の法人本部会計から繰り出し

令和4年度 地域包括支援センター（つつじの郷） 収支決算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業 収 入	1	包括的支援事業委託料	32,969,000	31,851,930	1,117,070	32,455,394	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	4,000,000	3,804,366	195,634	3,956,761	総合事業のみ
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	3,996,000	
	4	雑収入	0	0	0	10,400	
	5						
収入計 ①			40,965,000	39,652,296	1,312,704	40,418,555	
2. 指定介護予防支援事業分							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業 収 入	1	住宅改修意見書作成料	0	0	0		
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	4,500,000	4,801,547	-301,547	5,084,204	総合事業+予防給付、予防給付のみ
	3	雑収入	0	0	0	2,000	
	4						
	5						
収入計 ②			4,500,000	4,801,547	-301,547	5,086,204	
収入合計（①+②）③			45,465,000	44,453,843	-	45,504,759	

令和4年度収入済額

44,453,843

令和4年度支出済額

38,565,241

収支差額

5,888,602

※収支差額は、当該年度の法人本部会計へ繰り入れ

令和4年度 地域包括支援センター（つつじの郷） 収支決算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）							
項目	NO.	科目	予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明
人 件 費 支 出	1	常勤職員給与	24,145,000	18,993,626	5,151,374	21,643,062	常勤職員給与、諸手当6名
	2	非常勤職員給与	3,172,000	2,980,000	192,000	3,089,856	非常勤職員給与、諸手当2名
	3	法定福利費	4,320,000	3,629,061	690,939	2,964,714	社会保険料等
	4	退職金	0	0	0	626,000	
	5	退職金共済掛金	0	0	0	0	
	6	コーディネーター給与	4,307,000	4,307,000	0	4,328,000	給与、諸手当、社保等
支出計 ④			35,944,000	29,909,687	6,034,313	32,651,632	
事 務 ・ 事 業 費 支 出	1	保健衛生費	180,000	2,000	178,000	57,907	感染予防用品、クリーニング代
	2	水道光熱費	300,000	260,237	39,763	222,451	電気、水道、ガス
	3	消耗器具備品費	350,000	261,258	88,742	453,198	PC、プロジェクター、携帯
	4	保険料	300,000	251,390	48,610	216,533	車輛、賠償責任、ボランティア
	5	車輛費	372,000	370,043	1,957	404,685	燃料、整備点検
	6	福利厚生費	196,000	129,900	66,100	135,890	職員健康診断、ストレスチェック
	7	旅費交通費	120,000	3,256	116,744	2,800	駐車料金、訪問交通費
	8	研修研究費	120,000	2,220	117,780	52,000	研修参加費、交通費
	9	事務消耗品費	840,000	555,879	284,121	753,270	文具、日用品、トナー、カウンター保守
	10	修繕費	60,000	11,713	48,287	8,723	自転車、自転車写修繕
	11	通信運搬費	840,000	876,492	-36,492	961,974	電話代、切手、FAX
	12	会議費	140,000	135,911	4,089	6,000	会場費
	13	賃借料	3,294,000	3,294,000	0	3,294,000	家賃、駐車場、リース料、書類保管
	14	広報費	150,000	13,657	136,343	13,565	ホームページ管理
	15	業務委託費	150,000	141,866	8,134	141,866	事務所清掃費
	16	手数料	680,000	680,910	-910	680,000	税理士、社労士
	17	租税公課	350,000	1,505,550	-1,155,550	1,102,286	印紙、自動車税、法人税
	18	保守料	93,000	60,000	33,000	60,000	エアコン保守、PCセキュリティ
	19	諸会費	92,000	92,666	-666	93,666	社協等按分
	20	雑支出	894,000	6,606	887,394	48,600	
支出計 ⑤			9,521,000	8,655,554	865,446	8,709,414	
支出合計（④+⑤）⑥			45,465,000	38,565,241	-	41,361,046	
収支差額（③-⑥）			0	5,888,602	-	4,143,713	

令和4年度 地域包括支援センター（モーニングパーク） 収支決算書 NO.1

【収入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	包括的支援事業委託料	31,169,000	26,874,888	4,294,112	27,590,192	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,645,000	3,458,559	186,441	3,682,971	総合事業・サービスC
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	3,996,000	
	4	雑収入	0	0	0	0	
	5				0	0	
	6				0	0	
収入計 ①			38,810,000	34,329,447	4,480,553	35,269,163	
2. 指定介護予防支援事業分							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	住宅改修意見書作成料	10,000	2,200	7,800	2,200	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	5,316,000	5,179,362	136,638	5,057,368	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	16,000	26,400	-10,400	13,200	
	4						
	5						
収入計 ②			5,342,000	5,207,962	134,038	5,072,768	
収入合計（①+②）③			44,152,000	39,537,409	-	40,341,931	

令和4年度 地域包括支援センター（モーニングパーク） 収支決算書 NO.2

【支出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）							
項目	NO.	科目	予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明
人件費支出	1	常勤職員給与	21,800,000	20,737,745	1,062,255	17,974,730	5名分
	2	非常勤職員給与	2,500,000	579,370	1,920,630	2,256,560	1名分（中途退社）
	3	法定福利費	3,682,000	3,812,178	-130,178	3,610,658	
	4	退職金	0	0	0	1,501,000	該当なし
	5	退職金共済掛金	250,000	250,000	0	417,568	
	6	コーディネーター給与	4,500,000	4,658,030	-158,030	4,662,830	1名分
支出計 ④			32,732,000	30,037,323	2,694,677	30,423,346	
事業費支出	1	保健衛生費	620,000	56,699	563,301	282,108	ヘルパー袖、経口補助液、マスク他
	2	水道光熱費	500,000	540,698	-40,698	527,377	電気代、水道代
	3	消耗器具備品費	200,000	431,227	-231,227	35,803	ファイルパー入替
	4	保険料	110,000	114,340	-4,340	116,110	
	5	車輛費	600,000	50,000	550,000	327,400	ガソリン代
	6	福利厚生費	450,000	41,336	408,664	258,110	クリーニング
	7	旅費交通費	100,000	2,887	97,113	8,633	駐車場代
	8	研修研究費	200,000	115,250	84,750	265,808	外部研修、研修時交通費
	9	事務消耗品費	1,300,000	1,129,424	170,576	1,320,931	コピー代・事務用消耗品・その他消耗品
	10	修繕費	300,000	32,590	267,410	162,922	ト化換気扇、自転車修理
	11	通信運搬費	1,400,000	1,077,211	322,789	1,051,233	固定及び携帯電話・FAX代・印刷・切手葉書他
	12	会議費	200,000	214,930	-14,930	125,550	会場費用・会議用飲料・講師謝金等
	13	賃借料	3,500,000	3,335,898	164,102	3,121,554	家賃、駐車場、車両リース、複合機リース
	14	広報費	400,000	6,080	393,920	416,058	ポスターディスプレイ
	15	業務委託費	50,000	50,000	0	50,000	社労士等負担分
	16	手数料	1,100,000	13,090	1,086,910	902,351	振込手数料
	17	租税公課	50,000	22,000	28,000	26,000	印紙代
	18	保守料	80,000	24,112	55,888	7,414	ネットワークセキュリティ
	19	諸会費	10,000	1,000	9,000	1,000	いきいきネット会費
	20	雑支出	250,000	52,023	197,977	53,735	図書費、加用菓子他
支出計 ⑤			11,420,000	7,310,795	4,109,205	9,060,097	
支出合計（④+⑤）⑥			44,152,000	37,348,118	-	39,483,443	
収支差額（③-⑥）			0	2,189,291	-	858,488	

令和4年度収入済額

39,537,409

令和4年度支出済額

37,348,118

収支差額

2,189,291

※収支差額は、当該年度の法人本部会計へ繰り入れ

令和4年度 地域包括支援センター（ひいらぎの里） 収支決算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業 収 入	1	包括的支援事業委託料	32,969,000	29,932,120	3,036,880	30,217,508	
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	3,000,000	3,606,755	-606,755	3,697,859	総合事業のみ（サービスC含み）の利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	2,764,000	0	3,996,000	
	4	雑収入	0	1,190,000	-1,190,000	0	移転に伴う補助金
	5					0	
	6					0	
収入計 ①			39,965,000	37,492,875	1,240,125	37,911,367	
2. 指定介護予防支援事業分							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業 収 入	1	住宅改修意見書作成料	21,000	2,200	18,800	0	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	3,600,000	3,776,796	-176,796	3,712,802	総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	0	0	0	0	
	4						
	5						
収入計 ②			3,621,000	3,778,996	-157,996	3,712,802	
収入合計（①+②）③			43,586,000	41,271,871	-	41,624,169	

令和4年度 地域包括支援センター（ひいらぎの里） 収支決算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）							
項目	NO.	科目	予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明
人 件 費 支 出	1	常勤職員給与	25,200,000	24,226,089	973,911	26,588,966	常勤5名
	2	非常勤職員給与	1,500,000	1,620,258	-120,258	1,520,679	非常勤1名
	3	法定福利費	3,536,000	2,794,756	741,244	3,523,709	社会保険料等
	4	退職金	0	325,557	-325,557	0	2名分
	5	退職金共済掛金	0	75,000	-75,000	180,000	2名分
	6	コーディネーター給与	4,500,000	2,435,314	2,064,686	4,388,802	給与、諸手当、社会保険料等
支出計 ④			34,736,000	31,476,974	3,259,026	36,202,156	
事 務 ・ 事 業 費 支 出	1	保健衛生費	20,000	23,260	-3,260	3,454	ペーパータオル・除菌ティッシュ
	2	水道光熱費	360,000	420,361	-60,361	0	水道・電気
	3	消耗器具備品費	300,000	149,397	150,603	229,166	新事務所備品（下駄箱・巾着等）
	4	保険料	150,000	156,832	-6,832	313,236	車両保険（2台分）
	5	車輛費	300,000	540,006	-240,006	173,656	分)
	6	福利厚生費	100,000	88,332	11,668	93,112	健康診断・予防接種
	7	旅費交通費	30,000	91,474	-61,474	15,270	マイカー・レンタカー・従業員交通費
	8	研修研究費	100,000	23,440	76,560	32,620	研修参加費
	9	事務消耗品費	900,000	787,680	112,320	782,227	事務用品・消耗品・日用品
	10	修繕費	50,000	0	50,000	95,000	
	11	通信運搬費	350,000	421,986	-71,986	316,792	固定電話・携帯電話・光回線
	12	会議費	200,000	166,856	33,144	398,156	講師謝礼・会議用飲料
	13	賃借料	5,400,000	5,638,289	-238,289	7,196,392	家賃・駐車場・複合機リース
	14	広報費	100,000	166,300	-66,300	75,600	広告看板設置使用料
	15	業務委託費	30,000	9,000	21,000	11,580	一般廃棄物収集
	16	手数料	290,000	2,762,319	-2,472,319	708,363	12%
	17	租税公課	100,000	569,850	-469,850	281,800	収入印紙・法人税・市民税・所得税
	18	保守料	15,000	13,200	1,800	13,200	インターネット利用料
	19	諸会費	20,000	14,000	6,000	12,000	外出サービス
	20	雑支出	35,000	9,745,569	-9,710,569	29,040	内装工事費分割
支出計 ⑤			8,850,000	21,788,151	-12,938,151	10,780,664	
支出合計（④+⑤）⑥			43,586,000	53,265,125	-	46,982,820	
収支差額（③-⑥）			0	-11,993,254	-	-5,358,651	

令和4年度収入済額

41,271,871

令和4年度支出済額

53,265,125

収支差額

-11,993,254

※収支差額は、当該年度の法人本部会計から繰り出し

令和4年度 地域包括支援センター（朝光苑） 収支決算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	包括的支援事業委託料	31,169,000	27,948,350	3,220,650	28,903,850	1名欠員(4~12月)による減額あり
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	4,433,000	3,407,151	1,025,849	3,985,792	※総合事業のみの利用
	3	コーディネーター設置委託料	3,996,000	3,996,000	0	3,996,000	H28年度8月開始
	4	雑収入	0	127,825	-127,825	0	実習謝礼(1件3千円)、退職に係る共助会退職会計処理
	5						
	6	前期末支払資金残高	1,377,000	0	1,377,000	0	繰越金の使用なし
収入計 ①			40,975,000	35,479,326	5,495,674	36,885,642	
2. 指定介護予防支援事業分							
項目	NO.	科目	予算額	収入済額	差引増減	前年度決算額	説明
事業収入	1	住宅改修意見書作成料	4,000	2,200	1,800	0	1件
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	2,675,000	3,259,151	-584,151	3,295,495	※総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	0	0	0	0	
	4	補助金事業収入				20,000	新型コロナ関連の補助金
	5						
収入計 ②			2,679,000	3,261,351	-582,351	3,315,495	
収入合計 (①+②) ③			43,654,000	38,740,677	-	40,201,137	

令和4年度収入済額

38,740,677

令和4年度支出済額

37,974,200

収支差額

766,477

※収支差額は、次年度へ繰り越し

令和4年度 地域包括支援センター（朝光苑） 収支決算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）							
項目	NO.	科目	予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明
人件費支出	1	常勤職員給与	27,453,000	22,986,539	4,466,461	24,797,208	職員基本給・賞与6人分
	2	非常勤職員給与	2,213,000	2,145,285	67,715	2,105,573	事務1人分
	3	法定福利費	4,773,000	4,076,512	696,488	4,334,666	社会保険料
	4	退職金	535,000	524,825	10,175	400,000	福祉医療機構掛金
	5	退職金共済掛金	379,000	320,400	58,600	352,400	共助会掛金
	6	コーディネーター給与	4,865,000	4,336,970	528,030	4,570,010	職員基本給・賞与、社会保険料1人分
支出計 ④			40,218,000	34,390,531	5,827,469	36,559,857	
事業費支出	1	保健衛生費	50,000	40,711	9,289	60,000	非接触体温計、抗原検査キット代
	2	水道光熱費	1,120,000	1,369,420	-249,420	1,023,374	電気・ガス・上下水道料(按分5%)
	3	消耗器具備品費	0	0	0	0	
	4	保険料	133,000	109,560	23,440	86,390	自動車・原付バイク任意保険料
	5	車両費	95,000	86,781	8,219	59,401	車両点検・ガソリン代
	6	福利厚生費	84,000	66,927	17,073	47,527	職員健康診断費・ストレスチェック費
	7	旅費交通費	16,000	10,362	5,638	4,200	訪問調査交通費、駐車料金
	8	研修研究費	55,000	9,680	45,320	16,140	研修参加費・交通費
	9	事務消耗品費	335,000	326,337	8,663	366,434	事務用消耗品・備品購入費、握力計代 ノートパソコン、スタッドレス 機器修繕・各所修繕費、車両修理 トランプ、玄関扉鍵シリンダー修理 電話・携帯電話料・郵便料、 モバイルWiFi料
	10	修繕費	260,000	253,976	6,024	258,827	
	11	通信運搬費	474,000	437,565	36,435	394,118	
	12	会議費	134,000	201,181	-67,181	7,037	講座謝礼金(15件)、講師飲料代 参加者保険料・会場使用料
	13	賃借料	206,000	204,468	1,532	204,468	電話機・複合機リース料
	14	広報費	0	0	0	0	
	15	業務委託費	264,000	264,000	0	264,000	宿直警備委託(按分5%)
	16	手数料	35,000	32,835	2,165	32,754	振込手数料等
	17	租税公課	34,000	30,700	3,300	23,000	印紙税
	18	保守料	132,000	130,166	1,834	105,352	複合機保守(加付)料
	19	諸会費	9,000	9,000	0	9,000	共助会年会費
	20	雑支出	0	0	0	0	
支出計 ⑤			3,436,000	3,583,669	-147,669	2,962,022	
支出合計 (④+⑤) ⑥			43,654,000	37,974,200	-	39,521,879	
収支差額 (③-⑥)			0	766,477	-	679,258	

令和4年度 地域包括支援センター（あさか中央） 収支決算書 NO.1

【収 入】

単位：円

1. 包括的支援事業分（包括的支援事業・介護予防生活支援サービス事業・一般介護予防事業）							
項目NO.	科目	予算額	収入済額	前年度予算額	比較増減	説明	
事業収入	1	包括的支援事業委託料	32,969,000	31,895,450	—	—	医療職3か月分欠員
	2	総合事業による介護予防ケアマネジメント料	1,082,000	2,055,268	—	—	総合事業のみ（サービスC含む）
	3	コーディネーター設置委託料	0	0	—	—	
	4	雑収入	0	1,190,000	—	—	新設に伴う補助金
	5						
	6						
収入計 ①		34,051,000	35,140,718	—	—		
2. 指定介護予防支援事業分							
項目NO.	科目	予算額	収入済額	前年度予算額	比較増減	説明	
事業収入	1	住宅改修意見書作成料	20,000	2,000	—	—	
	2	予防給付による介護予防ケアマネジメント料	4,187,000	2,635,431	—	—	総合事業+予防給付利用者、または予防給付のみ利用
	3	雑収入	0	0	—	—	
	4						
	5						
収入計 ②		4,207,000	2,637,431	—	—		
収入合計（①+②）③		38,258,000	37,778,149	—	—		

令和4年度収入済額

37,778,149

令和4年度支出済額

34,675,421

収支差額

3,102,728

※収支差額は、当該年度の法人本部会計から繰り入れ

令和4年度 地域包括支援センター（あさか中央） 収支決算書 NO.2

【支 出】

単位：円

包括支援センター総支出（1.包括的支援事業分+2.指定介護予防事業分）							
項目NO.	科目	予算額	支出済額	差引増減	前年度決算額	説明	
人件費支出	1	常勤職員給与	25,800,000	23,404,465	2,395,535	—	常勤6名
	2	非常勤職員給与	0	0	0	—	
	3	法定福利費	4,000,000	3,449,486	550,514	—	
	4	退職金	0	0	0	—	
	5	退職金共済掛金	0	0	0	—	
	6	コーディネーター給与	0	0	0	—	
支出計 ④		29,800,000	26,853,951	2,946,049	—		
事務・事業費支出	1	保健衛生費	200,000	69,800	130,200	—	手指消毒・マスク・ペーパータオル
	2	水道光熱費	273,000	363,500	-90,500	—	電気、ガス、水道
	3	消耗器具備品費	400,000	395,000	5,000	—	パソコン・テレビ・テレビ台・マイク
	4	保険料	150,000	71,400	78,600	—	車両保険
	5	車輦費	300,000	1,601,200	-1,301,200	—	車両点検費・ガソリン代・車両購入
	6	福利厚生費	100,000	125,500	-25,500	—	職員健診・被服費
	7	旅費交通費	100,000	6,970	93,030	—	駐車料金、電車代、訪問交通費
	8	研修研究費	100,000	5,000	95,000	—	研修参加費・研修交通費
	9	事務消耗品費	1,600,000	1,180,800	419,200	—	事務文具類・印刷代・日用品
	10	修繕費	200,000	260,000	-60,000	—	緊急修繕、自転車修繕
	11	通信運搬費	600,000	674,300	-74,300	—	固定、携帯電話代・切手代
	12	会議費	200,000	198,000	2,000	—	講師謝金
	13	賃借料	2,700,000	2,402,400	297,600	—	家賃・駐車場・複合機リース代
	14	広報費	100,000	50,000	50,000	—	パンフレット・求人募集
	15	業務委託費	0	105,600	-105,600	—	事業所ごみ回収
	16	手数料	1,000,000	120,000	880,000	—	社労士
	17	租税公課	50,000	60,000	-10,000	—	印紙代・自動車税
	18	保守料	365,000	132,000	233,000	—	ALSOK
	19	諸会費	20,000	0	20,000	—	
	20	雑支出	0	0	0	—	
支出計 ⑤		8,458,000	7,821,470	636,530	—		
支出合計（④+⑤）⑥		38,258,000	34,675,421	—	—		
収支差額（③-⑥）		0	3,102,728	—	—		

令和4年度  
朝霞市地域包括支援センター  
事業報告

第1圏域	内間木苑
第2圏域	つつじの郷
第3圏域	モーニングパーク
第4圏域	ひいらぎの里
第5圏域	朝光苑
第6圏域	あさか中央

# 令和4年度 朝霞市地域包括支援センター事業報告

## 1. 地域活動組織への参加

地域包括支援センター職員が、地域で行われている活動への参加を通して  
地域の実態・課題把握を行い、地域の特性に応じたネットワークを構築する。

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計
R4 参加回数 (参加人数) うちラジオ 体操	208回 (2,137人) 2か所43回 (559人)	161回 (2,298人) 1か所24回 (370人)	259回 (3,689人) 3か所121回 (1,743人)	324回 (2,516人) 1か所46回 (352人)	248回 (2,968人) 3か所110回 (1,391人)	119回 (871人) 1か所40回 (368人)	回 (14,497人) 11か所384回 (4783人)
R3 参加回数 (参加人数) うちラジオ 体操	182回 (2,137人) 2か所42回 (332人)	137回 (1,451人) 1か所16回 (152人)	222回 (3,013人) 3か所121回 (1,961人)	436回 (3,652人) 2か所86回 (939人)	165回 (2,013人) 2か所56回 (813人)		1,142回 (12,266人) 10か所321回 (4,197人)
R2 参加回数 (参加人数)	110回 (1,106人)	75回 (738人)	175回 (2,770人)	218回 (1,808人)	73回 (760人)		651回 (7,182人)

※R3年度からは、全包括にてラジオ体操を実施しているため、実績を別段で記載

※R2年度までは、内間木苑、モーニングパーク、ひいらぎの里にてラジオ体操を実施

### 【主な事業】

#### ◎市民向け講座

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計
R4回数 (参加人数)	2回 (26人)	4回 (84人)	1回 (10人)	5回 (80人)	3回 (45人)	1回 (40人)	16回 (285人)
R3回数 (参加人数)	9回 (159人)	11回 (168人)	8回 (141人)	1回 (36人)	12回 (159人)		41回 (663人)
R2回数 (参加人数)	1回 (21人)	2回 (28人)	2回 (42人)	2回 (35人)	2回 (38人)		9回 (164人)

#### ◎認知症サポーター養成講座

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計
R4回数 (参加人数)	0回 (0人)	3回 (47人)	2回 (38人)	1回 (22人)	1回 (30人)	1回 (18人)	8回 (155人)
R3回数 (参加人数)	2回 (49人)	2回 (26人)	2回 (44人)	2回 (21人)	2回 (122人)		10回 (262人)
R2回数 (参加人数)	1回 (12人)	1回 (10人)	1回 (6人)	1回 (17人)	0回 (0人)		4回 (45人)

#### ◎認知症カフェ

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計
R4回数 (参加人数)	11回 (80人)	12回 (141人)	11回 (141人)	11回 (75人)	10回 (162人)	1回 (2人)	55回 (602人)
R3回数 (参加人数)	9回 (81人)	11回 (128人)	9回 (61人)	8回 (69人)	9回 (84人)		46回 (423人)
R2回数 (参加人数)	3回 (25人)	6回 (71人)	6回 (63人)	3回 (19人)	0回 (0人)		18回 (178人)

◎出張相談会

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計
R4 回数 (参加人数)	1 回 (8 人)	2 回 (18 人)	1 回 (27 人)	2 回 (54 人)	15 回 (61 人)	※モーニングパークと共催	21 回 (168 人)
R3 回数 (参加人数)	2 回 (6 人)	1 回 (25 人)	1 回 (30 人)	1 回 (20 人)	11 回 (33 人)		16 回 (114 人)
R2 回数 (参加人数)	1 回 (8 人)	0 回 (0 人)	0 回 (0 人)	0 回 (0 人)	1 回 (11 人)		2 回 (19 人)

## 2. 講座・教室の実施

### ①市民向け講座の実施

内容：地域包括支援センターが、地域の中で高齢者がいきいきと暮らしていくための介護予防に関する講座や地域の要援護高齢者等を見守る地域のネットワーク作りのための人材育成の教室を市民向けに開催する。

#### 内間木苑

日 程	参加者	内 容
6月15日	18人	「気功体験」 講師：朝霞市社会福祉協議会 吉川氏 会場：宮戸市民センター
7月11日	8人	「朝霞浜崎団地防災セミナー」 講師：西埼玉住まいセンター 川本氏 会場：UR朝霞浜崎団地

#### つつじの郷

日 程	参加者	内 容
4月27日	15人	「口の健康から介護予防 口腔機能低下症を知ろう」 講師：じんてん歯科 栗原氏・片岡氏 会場：弁財市民センター
11月4日	18人	「介護予防！ 骨盤リラックス ストレッチ体操」 講師：生涯学習ボランティアバンク 大野氏 会場：産業文化センター
12月8日	34人	「こんな時どうしたら良いの？成年後見制度&相続講座」 講師：埼玉県司法書士会 杉田氏 会場：弁財市民センター
3月17日	17人	「気功体験」 講師：朝霞市社会福祉協議会 吉川氏 会場：リゾンコミュニティギャラリー

#### モーニングパーク

日 程	参加者	内 容
5月18日	10人	「コロナに負けるな！元気アップ体操」 講師：デイサービスセンターハレルヤ 森岡氏 会場：南朝霞公民館

#### ひいらぎの里

日 程	参加者	内 容
5月18日 ～ 6月15日	各回8人ずつ	「体操ボランティア養成講座」全4回 講師：第2層協議体ひいらぎお助け隊 福田氏 会場：ヘルシースタジオ
7月29日	13人	「今から知りたい！高齢者向け施設のいろは」 講師：高齢者住宅仲介センターウチシルベ 有馬氏 会場：仲町市民センター
12月7日	25人	「ヤクルトおなか元気教室」 講師：東京ヤクルト株式会社 斉藤市・千田氏 会場：仲町市民センター
1月20日	10人	県政「あなたを狙う悪質商法」 講師：埼玉県県民生活部済費生活課 石井氏 会場：根岸台市民センター

## 朝光苑

日 程	参加者	内 容
6月3日	15人	「AIを活用した身体機能評価による介護予防のススメ」 講師：フレアス在宅マッサージスタッフ（5名） 会場：緑ヶ丘会館・緑ヶ丘児童遊園地
9月6日	9人	「今こそ知っておきたい感染症予防講座」 講師：特別養護老人ホーム朝光苑 高森氏 会場：緑ヶ丘会館・緑ヶ丘児童遊園地
2月7日	21人	「安心入浴セミナー」 講師：一般社団法人高齢者入浴アドバイザー協会 鈴木氏 会場：中央公民館コミュニティセンター

## あさか中央

日 程	参加者	内 容
12月8日	40人	「人生会議-終末期を迎えるにあたり大事なこと-」 講師：朝霞中央クリニック 米田氏 会場：根岸台市民センター

## ②認知症施策の推進

### 認知症サポーター養成教室

内容：認知症について正しく理解し認知症の人や家族を見守る応援者として自分の出来る範囲で活動するサポーターを養成する講座の講師を地域包括支援センターの職員が務める。

日 時	対 象	参加者数	担当包括
5月28日	市内在住・在勤の方	30人	朝光苑
7月12日	西部地区民生委員	20人	つつじの郷
7月18日	市内在住・在勤の方	22人	つつじの郷
9月23日	市内在住・在勤の方	25人	モーニングパーク
10月13日	わん One チーム見守り隊	5人	つつじの郷
11月11日	市内在住・在勤の方	中止	内間木苑
2月23日	市内在住・在勤の方	22人	ひいらぎの里
3月1日	市内在住・在勤の方	18人	あさか中央
3月31日	ほんちょう児童館を利用して いる小学生	13人	モーニングパーク

### 3. 会議等の参加・開催

#### 地域ケア会議運営事業

##### ①地域ケア会議

内容：地域ケア会議とは、多職種の第三者による専門的視点を交えて、個別ケースのケアマネジメントの質の向上をはかり、課題分析等の積み重ねにより、地域課題を発見し、地域に必要な資源開発や地域づくり、さらには必要な政策形成につなげ、地域包括ケアシステムの実現を目指す会議である。

(地域ケア会議の5つ機能)

- i：個別課題解決機能（包括主催 一部市主催）
- ii：ネットワーク構築機能（市主催）
- iii：地域課題発見機能（市主催）
- iv：地域づくり資源開発機能（市：生活支援体制整備事業で実施予定）
- v：政策形成機能（市：地域包括システム構築庁内検討委員会で実施方向）

##### 1) 市主催地域ケア会議（地域包括支援センター対象）

6回実施（25事例検討）：6地域包括支援センター職員延べ参加人数116人

##### 2) 市主催地域ケア会議（居宅介護支援事業所対象）

9回実施（31事例検討）：6地域包括支援センター職員延べ参加人数151人

※地域包括支援センターはアドバイザーとして参加

##### 3) 地域包括支援センター主催地域ケア会議

20回実施（31事例検討）

【内訳】	地域包括支援センター	内間木苑	3回	( 3事例検討)
	地域包括支援センター	つつじの郷	4回	( 8事例検討)
	地域包括支援センター	モーニングパーク	3回	( 6事例検討)
	地域包括支援センター	ひいらぎの里	3回	( 5事例検討)
	地域包括支援センター	朝光苑	5回	( 7事例検討)
	地域包括支援センター	あさか中央	2回	( 2事例検討)

※開設初年度のためひいらぎの里と共催

## 生活支援体制整備事業

### ①生活支援体制整備事業（市主催）

内容：高齢者の在宅生活を支えるため、多様化する生活支援ニーズに対応する、多様な主体による、生活支援・介護予防サービス等の地域資源の開発・育成や活動支援などのあり方を明らかにし、本事業を推進する生活支援体制整備推進委員（コーディネーター）の配置と、多様な地域の関係主体間の連携・協働を進める協議体の設置等を目指す。（長寿はつらつ課・社会福祉協議会）

#### 1) 生活支援コーディネーター会議

12回実施：6地域包括支援センター職員延べ参加人数146人

#### 2) 生活支援コーディネーターの具体的な取り組み

日時	参加人数	内容
7月27日（水）	48人	「第2層協議体合同学習会」 《内容》 ・協議体の役割について 講師：さわやか福祉財団 岡野氏 ・支え合い活動ができる居場所【なかよし】が立ち上がるまで 講師：三芳町の活動者 関根氏  ・グループワーク ①他圏域の協議体との情報交換会 ②協議体の活動を地域に知ってもらうための活動について

#### 3) 第2層協議体

- ・第1圏域協議体「和（なごみ）の会」
- ・第2圏域協議体「楽しみ隊」
- ・第3圏域協議体「あ・さかつなぎ」
- ・第4圏域協議体「ひいらぎお助け隊」
- ・第5圏域協議体「よろず屋」
- ・第6圏域協議体…令和6年度立ち上げ予定

## 在宅医療・介護連携推進事業

### ①在宅医療・介護連携推進事業（市主催）

内容：医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活が続けることができるよう、医療と介護が連携しサービス提供ができる体制づくりを目的とし、朝霞地区医師会や歯科医師会、薬剤師会などの各専門職を講師とした研修会の開催や、多職種が参加する情報交換会を実施。

また、在宅医療・介護連携をより円滑に推進していくため、医療と介護の完関係者より専門的な立場からの様々なお意見をいただき、今後の事業へ反映させる在宅医療・介護連携推進会議を実施。

#### 1) 在宅医療・介護連携推進事業に係る研修会及び情報交換会

	日 時	参加人数	内 容
第1回	7月27日(水)	医療・介護職 70人 (包括6人)	○研修会 「在宅医療・介護連携推進事業に係る多職種合同研修及び意見交換会 ～早期からのACP実践に向けた専門職の関わりについて～」 講師：国立長寿医療研究センター 後藤氏 ○意見交換会 「ACPの捉え方などについて」 「ACPの実践状況について」
第2回	10月20日(木)	医療・介護職 53名 (包括8人)	○研修会 もしバナゲームの実施 「ACPに関する振り返り及び朝霞市版ACP(案)について」 講師：国立長寿医療研究センター 後藤氏 ○意見交換会 「朝霞市版ACP(案)についてのグループワーク」
第3回	2月14日(火)	介護職 52人 (包括6人)	○研修会 「ACPに関する振り返り及び朝霞市版ACP(案)について」 説明：朝霞市長寿はつらつ課 ○意見交換会 「朝霞市版ACP(案)についてのグループワーク」

#### 2) 在宅医療・介護連携推進会議

2回実施：6地域包括支援センター職員延べ参加人数6人

(実施内容) ◎在宅医療・介護連携推進会議

	日 時	参加人数	内 容
第1回	6月1日(水)	29人 (包括6人)	・令和3年度在宅医療・介護連携推進事業の報告 ・令和4年度在宅医療・介護連携推進事業について ・医師とケアマネジャー情報連携シート～医療と介護サービスをつなぐ～の進捗報告について ・ACP普及啓発に向けた取組について

※第2回は書面会議として実施

## 令和4年度 朝霞市地域包括支援センター事業報告(総合)

令和4年4月～令和5年3月

総合	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央	合計	R3年度 合計	前年比 (倍)
延べ対応件数	9,110	11,083	10,254	14,655	10,565	8,433	64,100	62,206	1.03
実人数	899	830	831	819	858	543	4,780	4,264	1.12

利用方法	件数						合計	R3年度 合計	前年比 (倍)
	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央			
来所	10	31	62	32	26	48	209	132	1.58
電話	180	118	252	166	107	369	1,192	811	1.47
訪問	85	69	162	59	27	105	507	314	1.61
文書	9	21	61	14	70	57	232	257	0.90
来所(継続支援)	134	254	1,946	266	508	408	3,516	3,507	1.00
電話(継続支援)	3,751	5,479	4,683	8,726	5,338	4,687	32,664	30,552	1.07
訪問(継続支援)	1,502	1,480	1,487	1,353	2,267	1,023	9,112	9,752	0.93
文書(継続支援)	3,439	3,631	1,601	4,039	2,222	1,736	16,668	16,881	0.99
合計	9,110	11,083	10,254	14,655	10,565	8,433	64,100	62,206	1.03

相談経路	件数						合計	R3年度 合計	前年比 (倍)
	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央			
本人	2,780	3,813	5,005	3,910	4,169	2,319	21,996	21,697	1.01
家族	1,106	1,332	1,272	2,051	1,347	1,261	8,369	7,831	1.07
民生委員	40	26	12	62	135	0	275	297	0.93
地域その他	208	184	258	253	229	167	1,299	1,161	1.12
ケアマネジャー	459	392	321	1,083	564	553	3,372	3,808	0.89
介護サービス事業者	3,836	4,165	2,154	5,045	2,215	2,418	19,833	19,954	0.99
長寿はつらつ課	255	444	564	945	1,102	628	3,938	3,316	1.19
市役所(その他)	73	83	99	134	74	108	571	542	1.05
県	10	8	3	9	19	6	55	131	0.42
地域包括・在支	39	28	69	170	11	209	526	179	2.94
医療機関	304	608	497	993	700	764	3,866	3,290	1.18
その他	0						0	0	0.00
合計	9,110	11,083	10,254	14,655	10,565	8,433	64,100	62,206	1.03

相談内容 (延べ数)	件数						合計	R3年度 合計	前年比 (倍)
	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央			
介護予防実態調査	10	14	7	15	0	40	86	65	1.32
介護予防マネジメント(予防給付対象者)	4102	8,100	5,555	9,034	6,528	3,825	37,144	36,540	1.02
介護予防マネジメント(総合事業対象者)	1271	190	383	893	318	405	3,460	3,899	0.89
総合相談	3483	2,526	4,058	4,645	3,300	4,004	22,016	20,708	1.06
高齢者虐待対応	63	1	0	29	45	59	197	226	0.87
成年後見制度	75	0	0	2	29	12	118	71	1.66
地域ネットワーク構築	0	13	0	1	0	17	31	94	0.33
総合相談(高齢者福祉サービス)	56	185	197	2	227	39	706	603	1.17
高齢者実態調査(未返信者)	50	54	54	34	118	32	342		
合計	9,110	11,083	10,254	14,655	10,565	8,433	64,100	62,206	1.03

令和4年度 地域包括支援センター予防給付ケアプラン作成数

	地域包括支援センター名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
地域包括ケアプラン数	内間木苑	135	131	131	128	117	112	108	108	114	114	114	118	1,430
	つつじの郷	143	146	157	150	141	145	149	147	145	147	139	144	1,753
	モーニングパーク	145	145	128	138	132	149	140	135	139	140	137	143	1,671
	ひいらぎの里	135	121	114	110	115	115	124	117	117	117	121	113	1,419
	朝光苑	120	114	117	119	109	104	109	107	117	105	95	106	1,322
	あさか中央	2	14	47	65	76	96	92	93	96	98	100	104	883
委託数	内間木苑	26	25	19	20	17	16	13	14	13	14	14	14	205
	つつじの郷	23	23	18	18	16	15	15	14	14	15	14	15	200
	モーニングパーク	16	14	13	12	13	11	11	9	11	9	12	10	141
	ひいらぎの里	24	23	23	20	19	19	21	18	20	18	19	18	242
	朝光苑	21	20	22	19	19	21	20	22	20	19	19	19	241
	あさか中央	0	1	2	7	8	13	17	14	16	12	15	14	119
計	内間木苑	161	156	150	148	134	128	121	122	127	128	128	132	1,635
	つつじの郷	166	169	175	168	157	160	164	161	159	162	153	159	1,953
	モーニングパーク	161	159	141	150	145	160	151	144	150	149	149	153	1,812
	ひいらぎの里	159	144	137	130	134	134	145	135	137	135	140	131	1,661
	朝光苑	141	134	139	138	128	125	129	129	137	124	114	125	1,563
	あさか中央	2	15	49	72	84	109	109	107	112	110	115	118	1,002
委託事業者数	内間木苑	11	10	7	8	8	7	7	7	7	8	8	8	96
	つつじの郷	15	12	11	10	10	9	9	9	9	9	9	9	121
	モーニングパーク	11	10	8	7	8	7	7	7	7	7	8	8	95
	ひいらぎの里	14	14	13	12	12	12	11	10	10	10	11	10	139
	朝光苑	10	10	11	11	11	11	11	11	10	9	9	10	124
	あさか中央	0	1	2	6	7	9	10	10	10	7	10	8	80



令和4年度 地域包括支援センター別 介護予防プラン委託先事業所 集計表

包括名	内間木苑	件数	事業所数	つつじの郷	件数	事業所数	モーニング	件数	事業所数	ひいらぎ	件数	事業所数	朝光苑	件数	事業所数	あさか中央	件数	事業所数	計		
8月	あさか指定居宅介護支援事業所	5	8	あさか指定居宅介護支援事業所	3	10	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	3	8	あさか指定居宅介護支援事業所	1	12	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	1	11	あさか指定居宅介護支援事業所	2	7	56		
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		ニチイケアセンター朝霞	1		あさか指定居宅介護支援事業所	3		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		あさか指定居宅介護支援事業所	3		内間木苑居宅介護支援事業所	1				
	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		朝霞ケアセンターそよ風	1		介護プラン ほほえみ	1		朝霞ケアセンターそよ風	1		朝光苑居宅介護支援センター	3		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	1				
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	3		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	1		介護プラン ほほえみ	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1				
	藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	1		ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1		介護プラン ほほえみ	3		ふおれすと朝霞本町	1		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1				
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		ケアパートナー えん	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		ケアパートナー えん	1		ふおれすと朝霞本町	4		共生みらいマネジメント	1				
	循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	3		ケアプラン・コンパス	2		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	2		ASK	1		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	1				
	共生みらいマネジメント	3		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	2		居宅介護支援事業所 なのはな	2							
				居宅介護支援事業所 あさがお七里	1					共生みらいマネジメント	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1							
										居宅介護支援事業所 なのはな	1		ケアプラン・コンパス	1							
小計	17		16		13		19		19		8										
9月	あさか指定居宅介護支援事業所	4	7	あさか指定居宅介護支援事業所	2	9	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	3	7	あさか指定居宅介護支援事業所	1	12	地域包括支援センター 朝光苑	1	11	あさか指定居宅介護支援事業所	3	9	55		
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		ニチイケアセンター朝霞	1		あさか指定居宅介護支援事業所	3		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		介護老人保健施設ケアライフ朝霞	3		指定居宅介護支援事業所「ホームケアふれあいの手」	1				
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		朝霞ケアセンターそよ風	1		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		朝霞ケアセンターそよ風	2		あさか指定居宅介護支援事業所	3		内間木苑居宅介護支援事業所	1				
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	5		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	3		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	1		朝光苑居宅介護支援センター	3		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	1				
	循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1		ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		介護プラン ほほえみ	3		介護プラン ほほえみ	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	1				
	共生みらいマネジメント	3		ケアパートナー えん	1		ケアプラン・コンパス	1		ケアパートナー えん	1		ふおれすと朝霞本町	1		ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1				
	居宅介護支援事業所 志木みずほ	1		ふおれすと朝霞本町	1		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	2		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	4		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1				
				セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	4					SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	3		ASK	1		共生みらいマネジメント	1				
				居宅介護支援事業所 みどりケア	1					共生みらいマネジメント	1		居宅介護支援事業所 なのはな	2		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	3				
										居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所 なのはな	1							
小計	16		15		11		19		21		13										
10月	あさか指定居宅介護支援事業所	3	7	あさか指定居宅介護支援事業所	2	9	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	3	7	あさか指定居宅介護支援事業所	1	11	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2	11	あさか指定居宅介護支援事業所	4	10	55		
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		ニチイケアセンター朝霞	1		あさか指定居宅介護支援事業所	3		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	2		あさか指定居宅介護支援事業所	2			指定居宅介護支援事業所「ホームケアふれあいの手」	1
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		朝霞ケアセンターそよ風	1		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		朝霞ケアセンターそよ風	2		朝光苑居宅介護支援センター	4		内間木苑居宅介護支援事業所	1				
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	3		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	1		介護プラン ほほえみ	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	1				
	共生みらいマネジメント	2		ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		介護プラン ほほえみ	5		ふおれすと朝霞本町	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	1				
	ケアプラン・コンパス	1		ケアパートナー えん	1		ケアプラン・コンパス	1		ケアパートナー えん	1		ふおれすと朝霞本町	1		ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1				
	居宅介護支援事業所 志木みずほ	1		ふおれすと朝霞本町	1		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	3		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	4		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	2				
				セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	4					SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	3		ASK	1		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	4				
				居宅介護支援事業所 みどりケア	1					共生みらいマネジメント	1		居宅介護支援事業所 なのはな	2		共生みらいマネジメント	1				
										居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	1				
小計	13		15		11		21		20		17										
11月	あさか指定居宅介護支援事業所	3	7	あさか指定居宅介護支援事業所	1	9	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2	7	あさか指定居宅介護支援事業所	1	10	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2	11	あさか指定居宅介護支援事業所	3	10	54		
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		ニチイケアセンター朝霞	1		あさか指定居宅介護支援事業所	2		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	2		あさか指定居宅介護支援事業所	3			指定居宅介護支援事業所「ホームケアふれあいの手」	1
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	2		朝霞ケアセンターそよ風	1		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		朝霞ケアセンターそよ風	2		朝光苑居宅介護支援センター	3		内間木苑居宅介護支援事業所	1				
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	3		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	1		介護プラン ほほえみ	4		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	1				
	共生みらいマネジメント	2		ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		介護プラン ほほえみ	4		ふおれすと朝霞本町	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 清沼	1				
	ケアプラン・コンパス	1		ケアパートナー えん	1		ケアプラン・コンパス	1		ケアパートナー えん	1		ふおれすと朝霞本町	1		ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1				
	居宅介護支援事業所 志木みずほ	1		ふおれすと朝霞本町	1		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	2		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	4		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	1				
				セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	4					SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	3		ASK	1		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	3				
				居宅介護支援事業所 みどりケア	1					共生みらいマネジメント	1		居宅介護支援事業所 なのはな	2		共生みらいマネジメント	1				
										居宅介護支援事業所 みどりケア	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	1				
小計	14		14		9		18		22		14										

令和4年度 地域包括支援センター別 介護予防プラン委託先事業所 集計表

包括名	内間木苑	件数	事業所数	つつじの郷	件数	事業所数	モーニング	件数	事業所数	ひいらぎ	件数	事業所数	朝光苑	件数	事業所数	あさか中央	件数	事業所数	計
12月	あさか指定居宅介護支援事業所	3	7	あさか指定居宅介護支援事業所	1	9	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	3	7	あさか指定居宅介護支援事業所	1	10	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2	10	あさか指定居宅介護支援事業所	5	10	53
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		ニチイケアセンター朝霞	1		あさか指定居宅介護支援事業所	1		あさか指定居宅介護支援事業所	1		あさか指定居宅介護支援事業所	5					
	ケアプラン 安心のおせわ〜く広場	1		朝霞ケアセンターそよ風	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	3		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	2		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1					
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 満沼	3		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1		介護プラン ほほえみ	4		介護プラン ほほえみ	1					
	共生みらいマネジメント	2		ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		ケアパートナー えん	1		ふおれすと朝霞本町	1					
	ケアプラン・コンパス	1		ケアパートナー えん	1		ケアプラン・コンパス	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	4		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	3					
	居宅介護支援事業所 志木みずほ	1		ふおれすと朝霞本町	1		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	3		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1					
セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	4	居宅介護支援事業所 みどりケア	1			共生みらいマネジメント	1	ASK	1										
居宅介護支援事業所 みどりケア	1					居宅介護支援事業所 みどりケア	1	居宅介護支援事業所 なのはな	2										
						ケアプラン・コンパス	2	居宅介護支援事業所 みどりケア	1										
セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	1																		
小計	13		14		11		20		20		16								
1月	あさか指定居宅介護支援事業所	3	8	あさか指定居宅介護支援事業所	1	9	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2	7	あさか指定居宅介護支援事業所	2	10	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2	9	あさか指定居宅介護支援事業所	3	7	50
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		ニチイケアセンター朝霞	1		あさか指定居宅介護支援事業所	2		あさか指定居宅介護支援事業所	4		あさか指定居宅介護支援事業所	4					
	ケアプラン コスモス	1		朝霞ケアセンターそよ風	1		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		朝霞ケアセンターそよ風	1		朝光苑居宅介護支援センター	4					
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 満沼	3		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1		介護プラン ほほえみ	4		介護プラン ほほえみ	1					
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		ケアプラン安心のおせわ〜く広場	2		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		ケアパートナー えん	1		ふおれすと朝霞本町	1					
	共生みらいマネジメント	2		ケアパートナー えん	1		ケアプラン・コンパス	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	2		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	3					
	ケアプラン・コンパス	1		ふおれすと朝霞本町	1		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	3		ASK	1					
居宅介護支援事業所 志木みずほ	1	セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	4	居宅介護支援事業所 みどりケア	1	共生みらいマネジメント	1	居宅介護支援事業所 なのはな	2										
						居宅介護支援事業所 みどりケア	1	居宅介護支援事業所 みどりケア	1										
小計	14		15		9		18		19		12								
2月	あさか指定居宅介護支援事業所	3	8	あさか指定居宅介護支援事業所	1	9	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	4	8	あさか指定居宅介護支援事業所	2	11	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2	9	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	1	10	55
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		ニチイケアセンター朝霞	1		あさか指定居宅介護支援事業所	2		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		あさか指定居宅介護支援事業所	4					
	ケアプラン コスモス	1		朝霞ケアセンターそよ風	1		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		朝霞ケアセンターそよ風	2		朝光苑居宅介護支援センター	4					
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 満沼	3		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1		介護プラン ほほえみ	4		介護プラン ほほえみ	1					
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		ケアパートナー えん	1		ふおれすと朝霞本町	1					
	共生みらいマネジメント	2		ケアパートナー えん	1		ケアプラン・コンパス	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	2		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	3					
	ケアプラン・コンパス	1		ふおれすと朝霞本町	1		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	3		ASK	1					
居宅介護支援事業所 志木みずほ	1	セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	4	指定相談支援アットコレット蒲田	1	循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1	居宅介護支援事業所 なのはな	2										
						共生みらいマネジメント	1	居宅介護支援事業所 アルゴ朝霞	1										
居宅介護支援事業所 みどりケア	1					居宅介護支援事業所 みどりケア	1												
小計	14		14		12		19		19		15								
3月	あさか指定居宅介護支援事業所	3	8	あさか指定居宅介護支援事業所	1	9	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2	8	あさか指定居宅介護支援事業所	3	10	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	2	10	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	1	8	53
	内間木苑居宅介護支援事業所	1		ニチイケアセンター朝霞	1		あさか指定居宅介護支援事業所	2		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	1		あさか指定居宅介護支援事業所	4					
	ケアプラン コスモス	1		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里 満沼	3		居宅介護支援事業所 いろどりケア	1		朝霞ケアセンターそよ風	2		朝光苑居宅介護支援センター	4					
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	1		ケアプラン安心のおせわ〜く広場	3		循和会 居宅介護支援事業所朝霞	1		介護プラン ほほえみ	3		介護プラン ほほえみ	1					
	SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	4		ケアパートナー えん	1		居宅介護支援事業所 みどりケア	1		ケアパートナー えん	1		ふおれすと朝霞本町	1					
	共生みらいマネジメント	2		ふおれすと朝霞本町	1		ケアプラン・コンパス	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	1		藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	3					
	ケアプラン・コンパス	1		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	3		居宅介護支援事業所 てつ福祉相談室	1		SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	3		ASK	1					
居宅介護支援事業所 志木みずほ	1	居宅介護支援事業所 みどりケア	1	指定相談支援アットコレット蒲田	1	共生みらいマネジメント	1	居宅介護支援事業所 なのはな	1										
						居宅介護支援事業所 みどりケア	1	居宅介護支援事業所 みどりケア	1										
居宅介護支援事業所 やさしい手志木居宅介護支援事業所	1					ケアプラン・コンパス	2	居宅介護支援事業所 アルゴ朝霞	1										
小計	14		15		10		18		18		14		0						
合計	205	96	200	121	141	95	242	139	222	114	119	80	655						

令和4年度 朝霞市地域包括支援センター別 要介護者等介護事業所紹介 集計表

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央
4月	TMGケアプランセンター	朝霞ケアセンターそよ風	NPOいぼけつステーション	居宅介護支援事業所ひいらぎの里	SOMPOケア朝霞居宅介護支援	なし
	居宅介護支援事業所ひいらぎの里	居宅介護支援事業所 みどりケア	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	居宅介護支援事業所いろどりケア	
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	居宅介護支援事業所ここプラン	居宅介護支援事業所ひいらぎの里		居宅介護支援事業所ころこ	
	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	ケアプラン安心のおせわ〜く広場		ケアパートナーえん	
	居宅介護支援事業所みどりケア	ケアパートナー えん			埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	
		ケアプラン安心のおせわ〜く広場			朝光苑居宅介護支援センター	
		朝光苑居宅介護支援センター			藤川鍼灸接骨院居宅介護支援事業所	
		ニチイケアセンター朝霞				
5月	居宅介護支援事業所ひいらぎの里	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	TMGケアプランセンターあさか	SOMPOケア朝霞	ASK(アスク)	介護老人保健施設ケアライフ朝霞
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	居宅介護支援事業所 みどりケア	居宅介護支援事業所いろどりケア	あいケアプラン	あいケアプラン	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
	ケアプランコスモス	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	居宅介護支援事業所なのはな	
	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	ケアプラン・コンパス	居宅介護支援事業所 なのはな	居宅介護支援事業所みどりケア	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	
	居宅介護支援事業所みどりケア	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼		ケアパートナーえん	
		埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	朝光苑居宅介護支援センター		朝光苑居宅介護支援センター	
			ニチイケアセンター朝霞			
6月	内間木苑居宅介護支援事業所	ケアパートナー えん	ASK(アスク)	あいケアプラン	ASK(アスク)	あいケアプラン
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	朝霞ケアセンターそよ風	居宅介護支援事業所なのはな	朝光苑居宅介護支援センター	ケアプラン 安心のおせわ〜く広場
	ケアプランコンパス	ニチイケアセンター朝霞	居宅介護支援事業所いろどりケア	ケアプラン・コンパス		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
	居宅介護支援事業所みどりケア		介護老人保健施設ケアライフ朝霞			セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞
			居宅介護支援事業所 なのはな			
			埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所			
7月	内間木苑居宅介護支援事業所	朝霞ケアセンターそよ風	居宅介護支援事業所いろどりケア	あいケアプラン	あいケアプラン	ケアパートナーえん
		ケアパートナー えん	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	朝霞ケアセンターそよ風	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	居宅介護支援事業所 なのはな	居宅介護支援事業所いろどりケア	ケアパートナーえん	セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞
		居宅介護支援事業所なのはな	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	
			朝光苑居宅介護支援センター	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	朝光苑居宅介護支援センター	
			ニチイケアセンター朝霞			
8月	SOMPO朝霞	ASK(アスク)	ASK(アスク)	あいケアプラン	ASK(アスク)	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里
	内間木苑居宅介護支援事業所	共生みらいマネジメント	居宅介護支援事業所いろどりケア	居宅介護支援事業所なのはな	居宅介護支援事業所いろどりケア	ケアプラン コスモス
		ケアプラン・コンパス	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所ひいらぎの里	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	ケアプラン安心のおせわ〜く広場
		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	居宅介護支援事業所 なのはな	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	小規模多機能ホーム 桜ヶ丘	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
			ケアプラン安心のおせわ〜く広場	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	多機能ホーム 安心のおせわ〜く広場	
			ニチイケアセンター朝霞	ニチイケアセンター朝霞	朝光苑居宅介護支援センター	
9月	内間木苑居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	居宅介護支援事業所いろどりケア	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	ASK(アスク)	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	ケアパートナー えん	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	ニチイケアセンター朝霞	居宅介護支援事業所いろどりケア	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼
	ケアプランコンパス	ケアプラン・コンパス	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼		居宅介護支援事業所なのはな	
	ホームケアふれあいの手	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	ケアプラン安心のおせわ〜く広場		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	
	居宅介護支援事業所みどりケア	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	ふおれすと朝霞本町		朝光苑居宅介護支援センター	
		ニチイケアセンター朝霞				

令和4年度 朝霞市地域包括支援センター別 要介護者等介護事業所紹介 集計表

	内間木苑	つつじの郷	モーニングパーク	ひいらぎの里	朝光苑	あさか中央
10月	居宅介護支援事業所ひいらぎの里	ケアパートナー えん	居宅介護支援事業所いろどりケア	SOMPOケア朝霞	ASK(アスク)	ケアプラン・コンパス
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	ケアプラン・コンパス	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	あいケアプラン	SOMPOケア朝霞居宅介護支援	ケアプラン安心のおせわ〜く広場
		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	藤川鍼灸接骨院居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所こころ	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
					ケアパートナーえん	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼
					埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	
					朝光苑居宅介護支援センター	
					ふおれすと朝霞本町	
11月	あいケアプラン	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	ASK(アスク)	居宅介護支援事業所なのはな	あいケアプラン	あいケアプラン
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	ケアプラン・コンパス	居宅介護支援事業所いろどりケア	居宅介護支援事業所ひいらぎの里	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所いろどりケア
	居宅介護支援事業所みどりケア	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所なのはな	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里
		セレクトケアプラザ居宅介護支援事業所朝霞	居宅介護支援事業所 アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	朝光苑居宅介護支援センター	居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼
						ケアライフ朝霞居宅介護支援事業所
						循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
						セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞
12月	居宅介護支援事業所みどりケア	ケアプラン・コンパス	ASK(アスク)	ケアプラン・コンパス	ASK(アスク)	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼	居宅介護支援事業所いろどりケア	
		セレクトケアプラザ居宅介護支援事業所朝霞	ケアサポートにいざ居宅介護支援事業所	SOMPOケア朝霞	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	
		ホームケアふれあいの手				
1月	ケアパートナー えん	ASK(アスク)	ASK(アスク)	SOMPOケア朝霞	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所いろどりケア	共生みらいマネジメント	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
	居宅介護支援事業所みどりケア	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	居宅介護支援事業所 アルゴ朝霞	ケアプラン・コンパス	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	ケアサポートオーリーブ
		居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼			居宅介護支援事業所いろどりケア	ケアパートナーえん
		ケアプラン・コンパス			居宅介護支援事業所みどりケア	セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞
		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞			ケアプラン・コンパス	
2月	内間木苑居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所いろどりケア	SOMPOケア朝霞	ASK(アスク)	あいケアプラン
	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	共生みらいマネジメント	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	あいケアプラン	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	ケアパートナーえん
	居宅介護支援事業所みどりケア	ケアパートナー えん	ケアプランくるみ	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	共生みらいマネジメント
		セレクトケアプラザ居宅介護支援事業所朝霞	ハート・ケアみその	居宅介護支援事業所いろどりケア	居宅介護支援事業所いろどりケア	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
				居宅介護支援事業所ひいらぎの里溝沼		セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞
				ケアプラン・コンパス		朝霞ケアセンターそよ風
				循和会 居宅介護支援事業所 朝霞		居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼
3月	内間木苑居宅介護支援事業所	ASK(アスク)	ASK(アスク)	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	ケアパートナーえん
	ケアプランコスモス	居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	居宅介護支援事業所いろどりケア	居宅介護支援事業所いろどりケア	ケアプラン・コンパス	ケアプラン安心のおせわ〜く広場
	居宅介護支援事業所みどりケア	ケアプラン安心のおせわ〜く広場	介護老人保健施設ケアライフ朝霞	ホームケアふれあいの手	埼玉ライフケアサービスあさか指定居宅介護支援事業所	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞
		ホームケアふれあいの手	居宅介護支援事業所 アルゴ朝霞		循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞
		やさしい手志木居宅介護支援事業所	循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	ミアヘルサケアプラン朝霞		朝光苑居宅介護支援センター

令和4年度 朝霞市地域包括支援センター別 要介護者等介護事業所紹介 集計表

包括名	内間木苑	件数	つつじの郷	件数	モーニングパーク	件数	ひいらぎの里	件数	朝光苑	件数	あさか中央	件数
4月	同法人		同法人		同法人		同法人	2	同法人	1	同法人	
	他事業者	9	他事業者	10	他事業者	5	他事業者		他事業者	6	他事業者	
5月	同法人		同法人		同法人	3	同法人	2	同法人	2	同法人	2
	他事業者	10	他事業者	8	他事業者	8	他事業者	4	他事業者	6	他事業者	1
6月	同法人	1	同法人		同法人	1	同法人		同法人	4	同法人	1
	他事業者	4	他事業者	4	他事業者	7	他事業者	5	他事業者	1	他事業者	4
7月	同法人	1	同法人		同法人	2	同法人	1	同法人	3	同法人	2
	他事業者		他事業者	4	他事業者	7	他事業者	7	他事業者	4	他事業者	2
8月	同法人	2	同法人		同法人	1	同法人	2	同法人	3	同法人	4
	他事業者	1	他事業者	5	他事業者	6	他事業者	7	他事業者	5	他事業者	3
9月	同法人	1	同法人	1	同法人	1	同法人	4	同法人	2	同法人	2
	他事業者	6	他事業者	7	他事業者	5	他事業者	1	他事業者	4	他事業者	1
10月	同法人		同法人		同法人	1	同法人		同法人	3	同法人	4
	他事業者	3	他事業者	3	他事業者	5	他事業者	4	他事業者	8	他事業者	4
11月	同法人		同法人		同法人		同法人	1	同法人	1	同法人	2
	他事業者	4	他事業者	5	他事業者	11	他事業者	1	他事業者	5	他事業者	7
12月	同法人		同法人	1	同法人	1	同法人	1	同法人		同法人	1
	他事業者	1	他事業者	3	他事業者	3	他事業者	3	他事業者	3	他事業者	
1月	同法人		同法人		同法人	2	同法人		同法人		同法人	4
	他事業者	5	他事業者	8	他事業者	2	他事業者	5	他事業者	9	他事業者	6
2月	同法人	1	同法人		同法人	1	同法人	1	同法人		同法人	2
	他事業者	4	他事業者	4	他事業者	3	他事業者	8	他事業者	5	他事業者	6
3月	同法人	2	同法人	1	同法人	3	同法人		同法人	1	同法人	2
	他事業者	3	他事業者	6	他事業者	5	他事業者	3	他事業者	5	他事業者	
計	同法人	8	同法人	3	同法人	16	同法人	14	同法人	20	同法人	26
	他事業者	50	他事業者	67	他事業者	67	他事業者	48	他事業者	61	他事業者	34
	同法人率	14%	同法人率	4%	同法人率	19%	同法人率	23%	同法人率	25%	同法人率	43%

※50%以下にするよう口頭指導

## 令和4年度 予防給付ケアプラン委託事業者

### (市内) 30事業所

名称	電話	所在地
朝光苑居宅介護支援センター	048-465-1212	朝霞市青葉台1-10-32
共生みらいマネジメント	048-487-7280	朝霞市朝志ヶ丘4-6-26 コーポハイブリッジ102
内間木苑居宅介護支援事業所	048-458-2027	朝霞市大字上内間木498-4
居宅介護支援事業所 みどりケア	048-485-9730	朝霞市大字上内間木323-1 サニーハイツM201
ホームケアふれあいの手	048-458-1304	朝霞市大字下内間木1363-1
居宅介護支援事業所 ひいらぎの里	048-469-5946	朝霞市岡3-17-60
ケアパートナー えん	048-211-1616	朝霞市栄町2-1-31-203
循和会 居宅介護支援事業所 朝霞	048-423-0623	朝霞市北原1-1-14 2F
ケアプラン安心のおせわ〜く広場	048-423-6810	朝霞市西原1-7-1
TMGケアプランセンターあさか	048-423-2360	朝霞市西弁財1-8-21
あいケアプラン	048-450-1833	朝霞市根岸台7-20-46
SOMPOケア 朝霞 居宅介護支援	048-458-4177	朝霞市根岸台3-6-12大興ビル3F
セレクトケアプラザ株式会社 居宅介護支援事業所朝霞	048-424-4631	朝霞市東弁財2-12-2 30THスクエア301
ASK	048-424-3984	朝霞市膝折町4-10-17
いろどりケア	048-485-1947	朝霞市本町1-19-23 B-101
居宅介護支援事業所アルゴ朝霞	048-424-7345	朝霞市本町1-34-1 ボンビラージュテナント1F
居宅介護支援事業所 なのはな	048-424-7500	朝霞市本町2-7-34 リブ朝霞102号室
埼玉ライフケアサービス あさか指定居宅介護支援事業所	048-450-0177	朝霞市本町2-4-25
ニチイケアセンター朝霞	048-451-1483	朝霞市本町2-1-37 マッサビル401号室
ふおれすと朝霞本町	048-211-0345	朝霞市本町2-17-4
藤川鍼灸接骨院 居宅介護支援事業所	048-487-7732	朝霞市本町3-4-8
朝霞ケアセンターそよ風	048-450-8343	朝霞市溝沼1050-1
介護老人保健施設ケアライフ朝霞	048-471-9739	朝霞市溝沼2-4-15-101
居宅介護支援事業所 ひいらぎの里溝沼	048-458-5700	朝霞市溝沼7-8-22
ケアプラン・コンパス	048-423-6646	朝霞市三原2-26-24
ミアヘルサ ケアプラン朝霞	048-424-2052	朝霞市三原1-11-22
やさしい手志木居宅介護支援事業所	050-1744-5023	朝霞市三原3-33-16
居宅介護支援事業所ここプラン	080-2575-2523	朝霞市三原2-26-24
ケアプラン コスモス	048-458-0624	朝霞市宮戸4-9-8 サンティアラ202
グループホーム 桜ヶ丘	048-450-2300	朝霞市幸町1-11-7

### (近隣3市) 5事業所

名称	電話	所在地
株式会社ケアポート・オリーブ	048-481-5093	新座市野火止1-15-28-102
居宅介護支援事業所ころ	048-678-1953	さいたま市中央区下落合3-7-1 飯塚ビル102
ハート・ケアみその	03-3939-4495	東京都板橋区成増5-6-3 サービス付き高齢者向け住宅「みどりの社」1階
ケアサポートにいざ居宅介護支援事業所	048-480-4165	新座市大和田1-8-2
ケアプランくるみ	048-202-3800	和光市南1-11-87 第一福寿ビル103号室

合計 35事業所